

構造特記仕様書		2021年度版	
§1 一般事項		選択項目は○印を適用し、△印が無い場合は * 印を適用する。 ○印が複数有る場合は、共に適用する。	
1-1	使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。		
1-2	設計図書の優先順位は下記による。		
①	本特記仕様書		
②	設計図		
③	標準図		
④	仕様書		
⑤	日本建築学会標準仕様書・JASS5・JASS6（最新版とする）		
1-3	各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。		
1-4	構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。		
1-5	第三者機関による検査・試験費用は工事費に（○含む △含まない）		
1-6	設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。		
1-7	梁貫通位置、径、及び箇所数は（・意匠図 構造図 * 設備図）による。		
その他			
§2 構造計算ルート			
2-1	方 向		
	X		
	Y		
2-2	鉄筋の継手（定着については設計図若しくは標準図による）		
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ			
○建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定			
・日本建築学会 JASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説			
・日本建築学会 RC標準2018			
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC標準2018とすることができる。			
§3 仮設工事、土工事			
3-1	山留め、根切り		
3-2	埋戻し上、盛土、残土処分		
	埋戻し土		
	盛土		
	残土処分		
§4 地業工事			
4-1	基礎及びスラブ下地業（単位mm）		
	場 所		
	基 礎		
	基礎梁		
	土間スラブ		
	土間コンクリート		
注 (1)アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。			
(2)端部aは100以上とする。			
4-2	設計地耐力		
	地耐力載荷試験		
4-3	地盤改良		
	無筋コンクリート地業		
	セメント系固化材投打		
	[・載荷試験		
	[・六価クロム溶出試験		
4-4	既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭		
①	杭種		
	PHC杭		
	ST杭		
	SC杭		
	PRC杭		
	節杭		
②	工法		
	打撃工法		
	埋込み工法		
	プレボーリング拡大根固め工法		
	杭周固定液		
	中掘拡大根固め工法		
	回転掘設根固め工法		
③杭径、設計耐力、本数表			
	杭径(杭底部)mm		
	管長mm		
	長期kN		
	短期kN		
	終局kN		
	本数		
	備 考		
4-5	場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭		
	1) 工法		
	アースドリル工法		
	リバース工法		
	BH工法		
	杭の構成は設計図による。		
	杭頭補強		
	かご筋		
	スタッド溶接		
	杭外周溶接		
	場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭		
	2) 杭径、設計耐力、本数表		
	杭径(杭底部)mm		
	管長mm		
	長期kN		
	短期kN		
	終局kN		
	本数		
	備 考		
	杭先端深さ		
	孔壁測定		
	材料		
	使用材料		
	コンクリート		
	鉄筋		
	鋼管		
4-6	杭打地業共通事項		
	1) [・試験杭		
	載荷試験		
	SL塗布		
§5 鉄筋工事			
5-1	材種		
	SD295		
	SD345		
	SD390		
	SD490		
	溶接金網		
	高強度せん断補強筋		
5-2	ガス圧接部の検査		
	抜取り検査		
	引張り試験		
	超音波探傷試験		
	1検査ロットにつき		
	不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。		
	1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内		
5-3	溶接、機械式継手の検査		
	JIS Z 3063		
	JIS Z 3064		
5-4	梁貫通補強		
	補強筋は原則として工場製品		
5-5	その他		
	基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として		
	梁の余長l1の採用		
	鉄筋の組立は適切な位置にスパーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。		
	コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。		
	コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。		
§6 コンクリート工事			
6-1	レディーミクストコンクリート		
①	セメント		
	粗骨材		
	最大径		
③	設計基準強度		
	普通コンクリート		
	軽量コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		
	土間コンクリート		

(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会

http://fasa-net.jp

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会

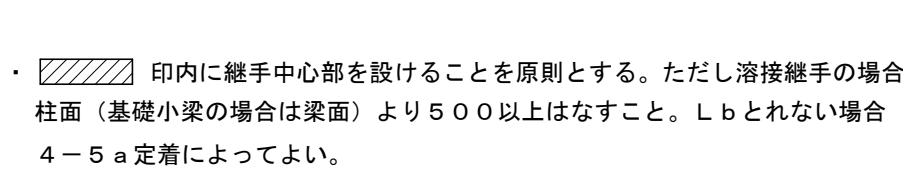
TEL (06) 6763-8205

FAX (06) 6763-8206

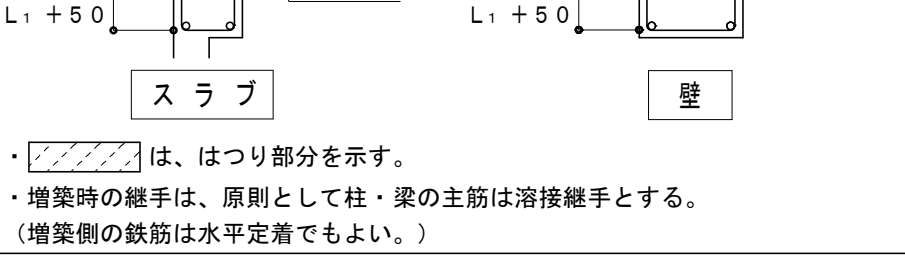
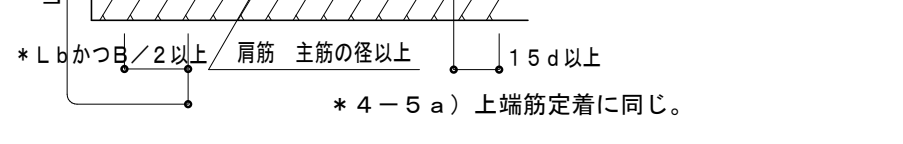
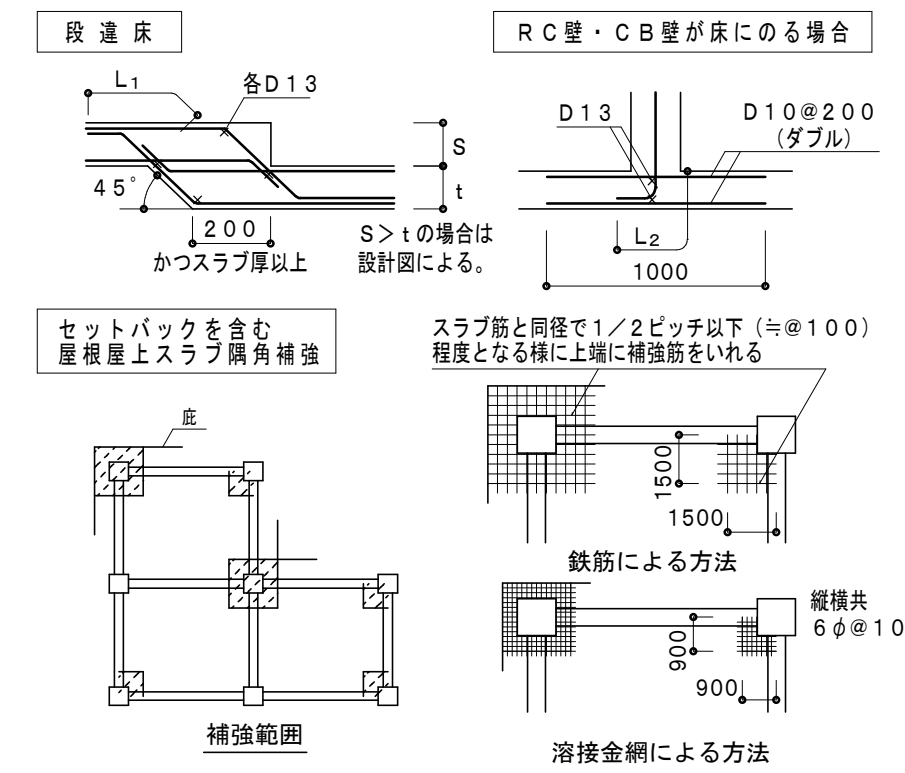
http://www.kse-web.com/

2021年2月1日作成 (不許複製)

b) 基礎小梁
の継手及
び定着

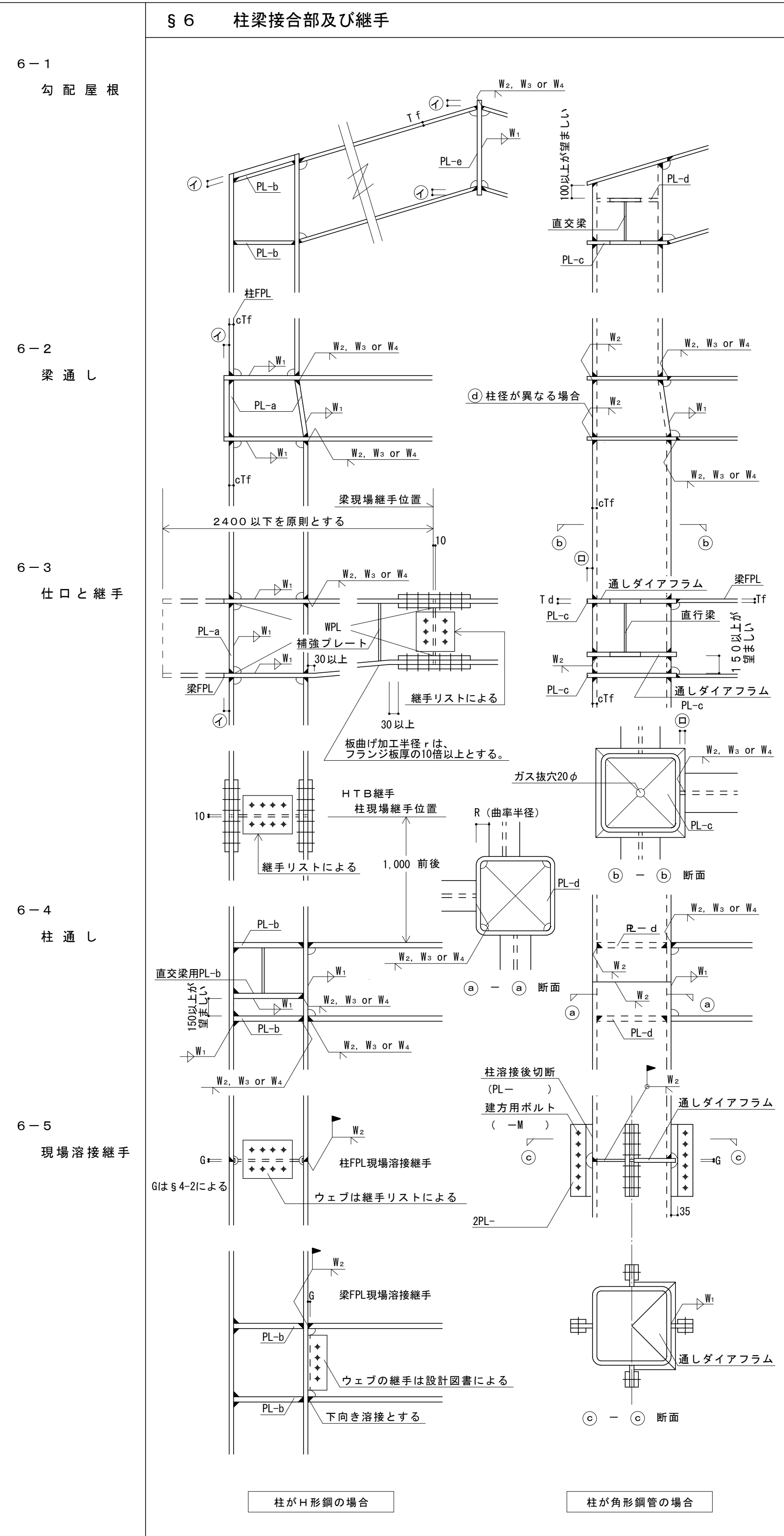


5-4
補強筋

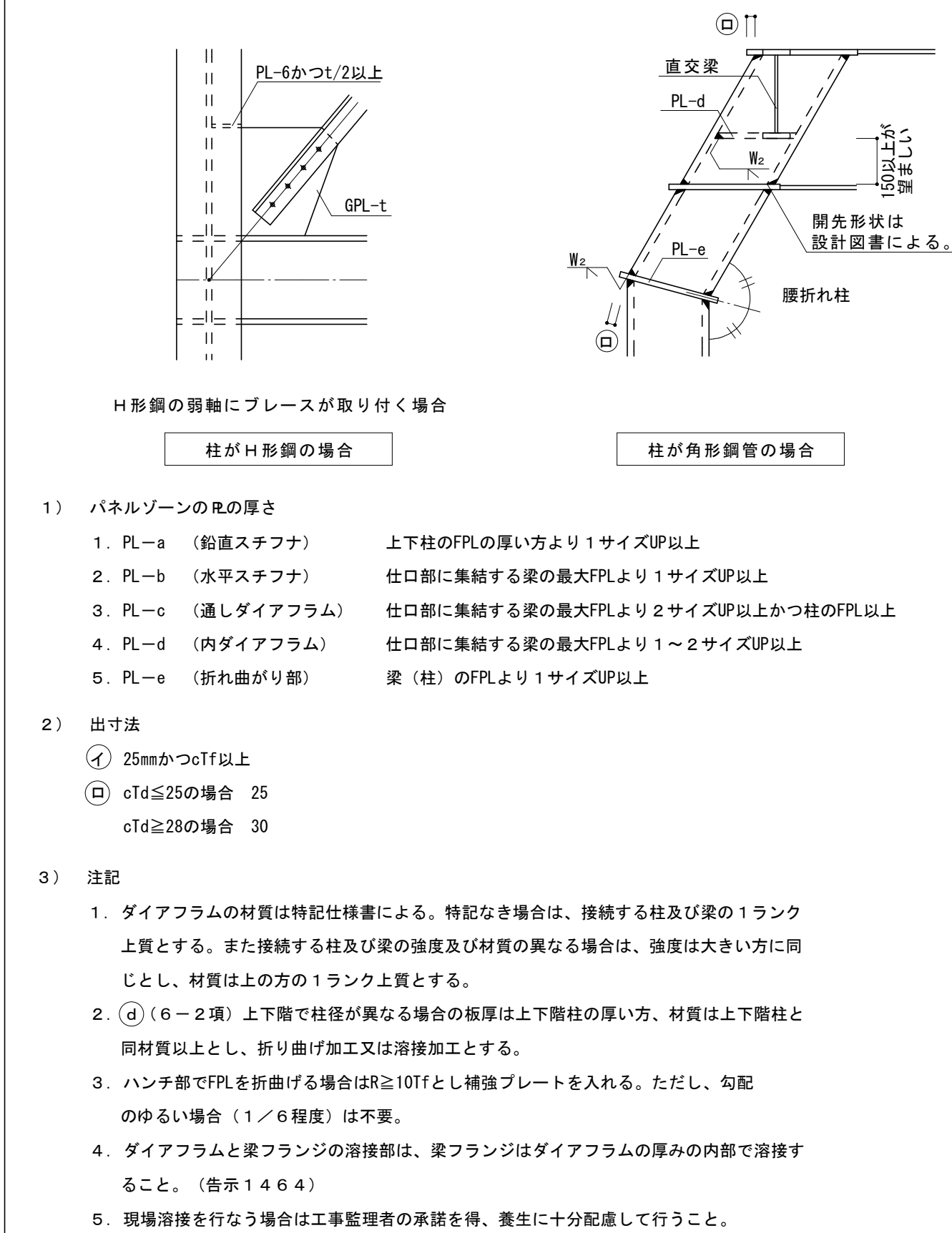


<http://fasa-net.jp>

鉄骨工作標準図（２） ２０２１年度版

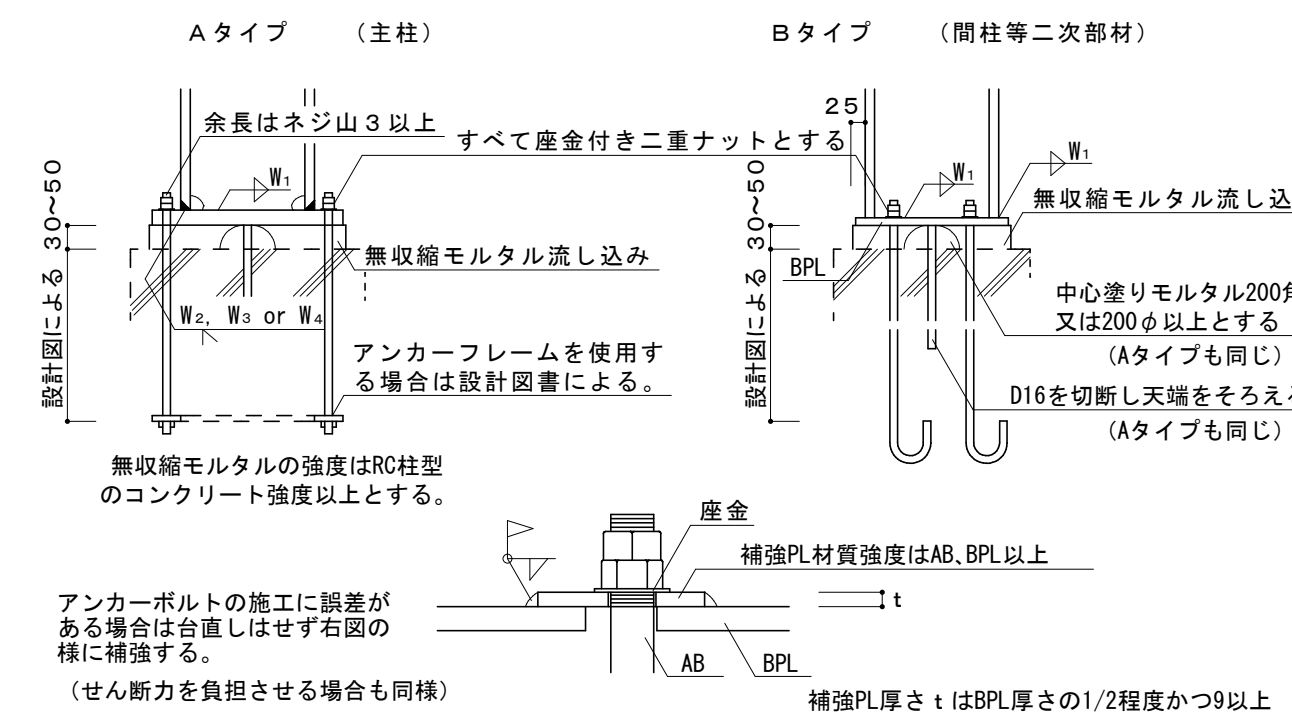


6-6
その他



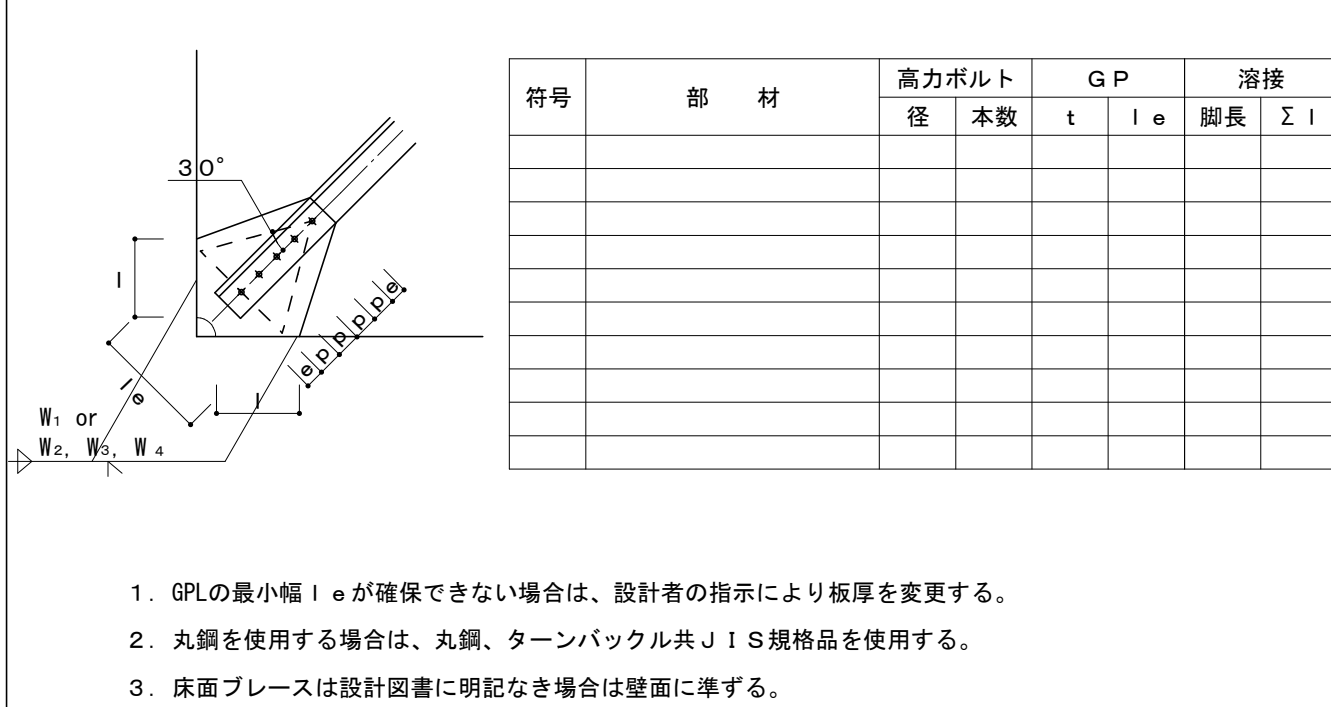
§ 7 柱脚

7-1
一般柱脚



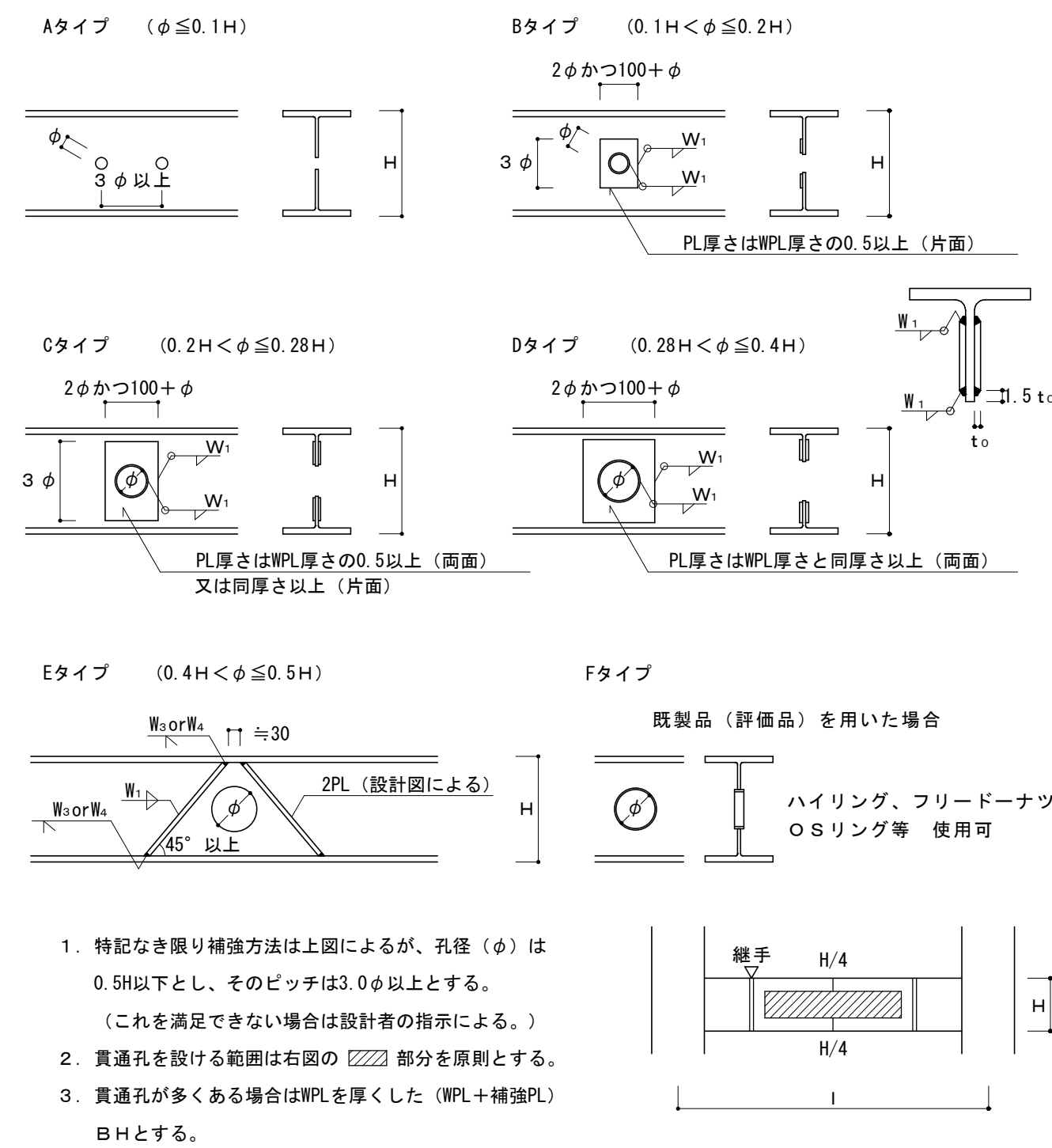
§ 8 壁面ブレース

8-1
ブレースリスト

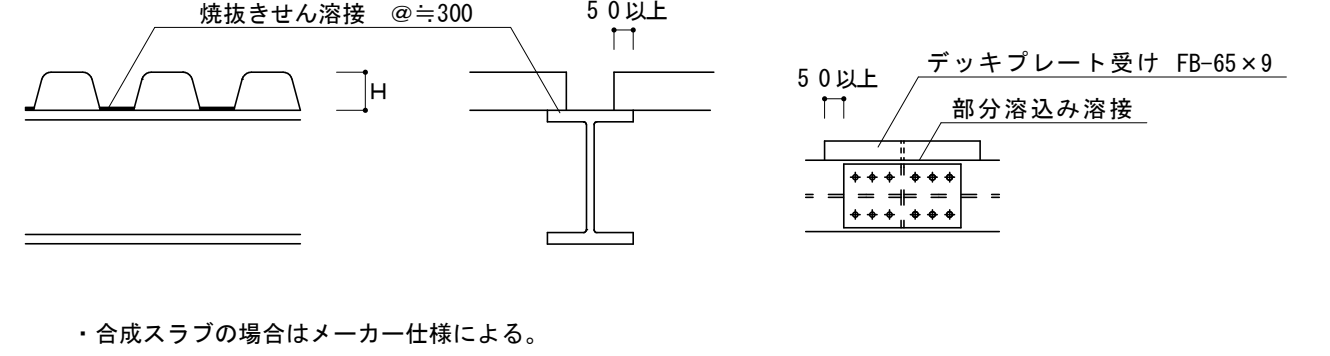


9-1
貫通補強

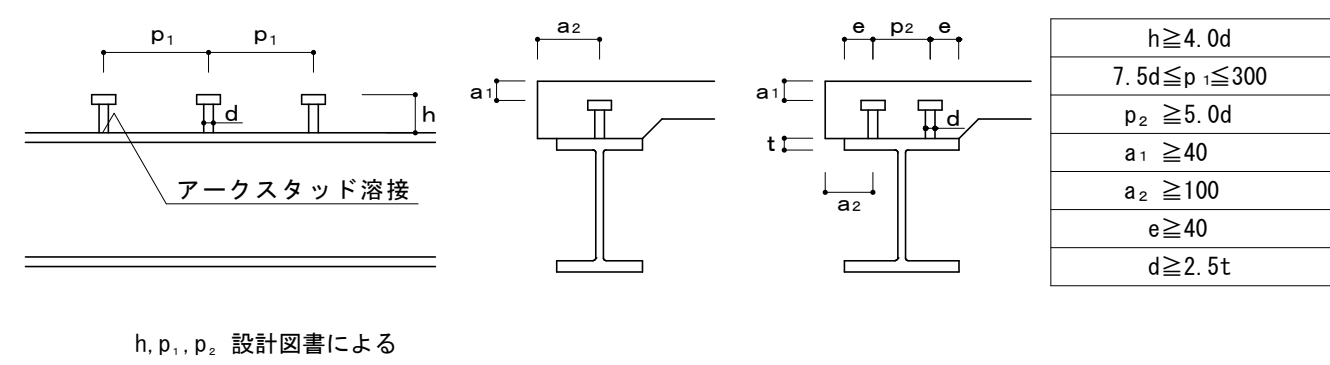
§ 9 その他



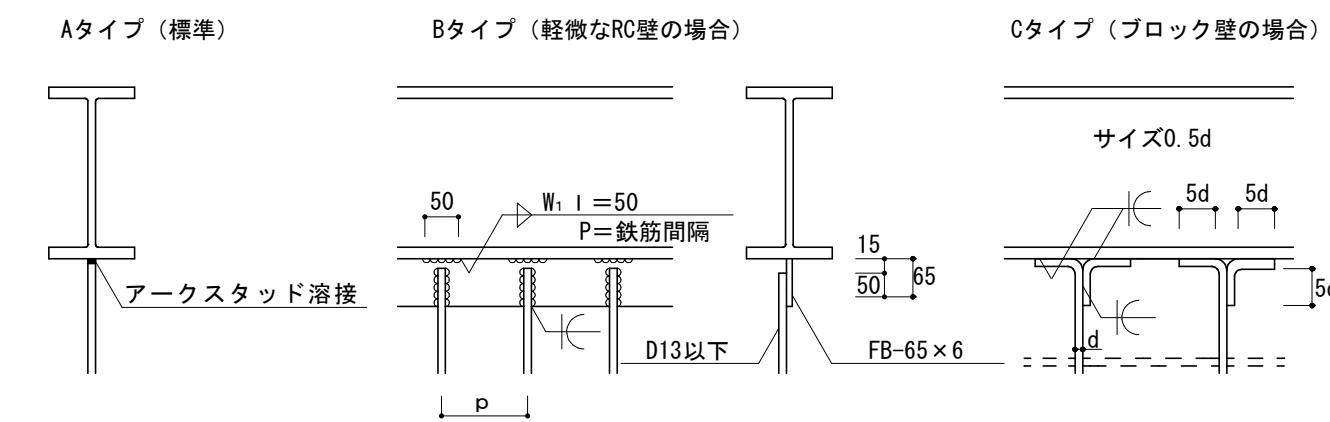
9-2
デッキプレート



9-3
スタッドジベル



9-4
壁筋の溶接



(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会

<http://fasa-net.jp>

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会

TEL(06)6763-8205

FAX(06) 6763-8206

<http://www.kse-web.com/>

2021年2月1日作成 (不許複製)

MEMO

一級建築士事務所 滋賀県知事登録
(口)第2449号
滋賀県長浜市口分田町350番地7

藤田建築設計事務所

TEL: 0749-63-4500

FAX: 0749-56-3018

TITLE

豊公園再整備倉庫棟他新築工事

【倉庫棟】鉄骨工作標準図(2)

SCALE

CHECK DEAT

DRAWN DEAT

SEAL

SHEET NO

一級建築士 第254743号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第2337号

S

05

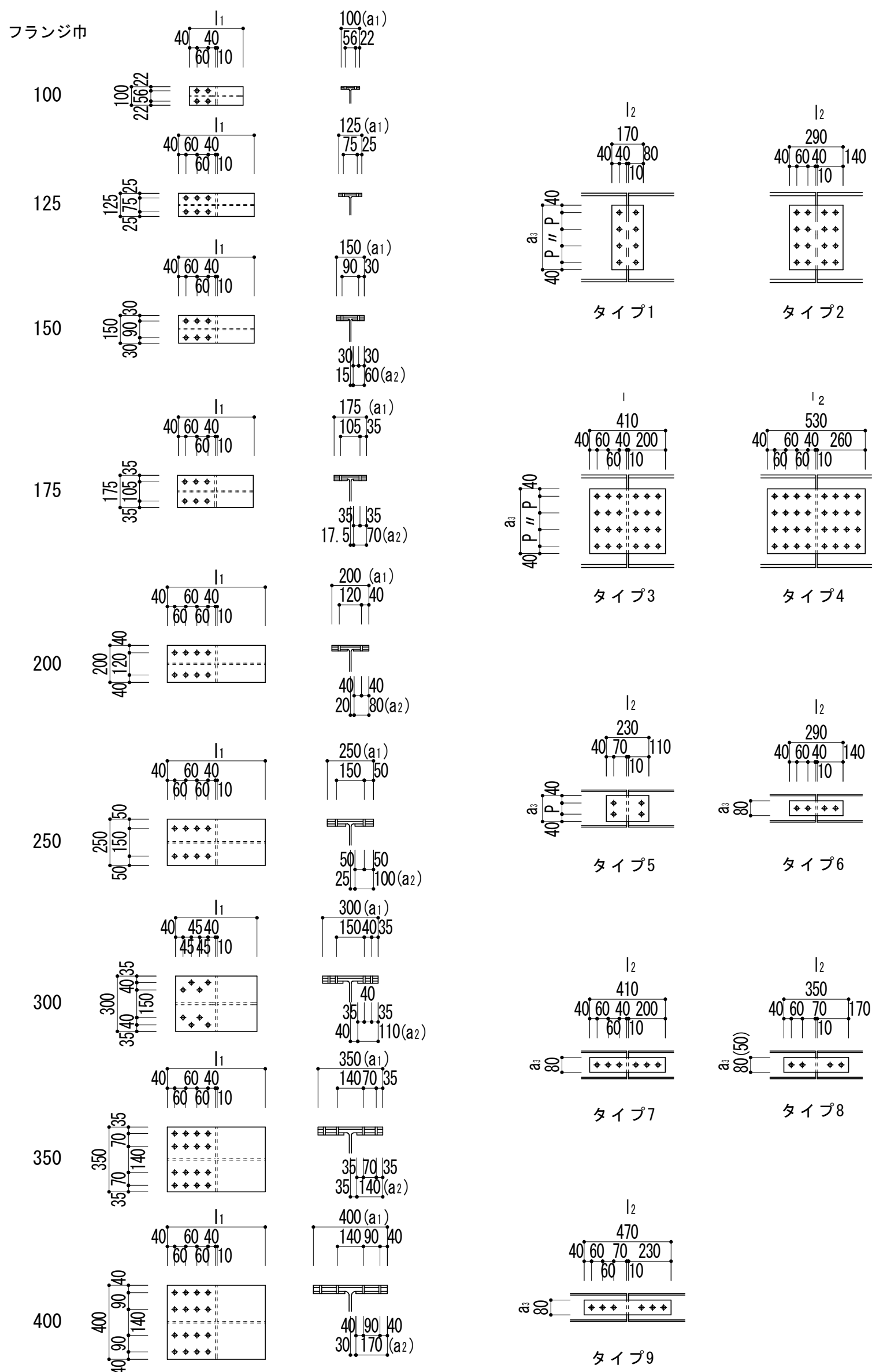
23

一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵

H 形 鋼 継 手 標 準 図 (1) 2021年度版
(HTB S10T、F10T)

フランジボルト配置

ウェブボルト配置



梁400N級鋼

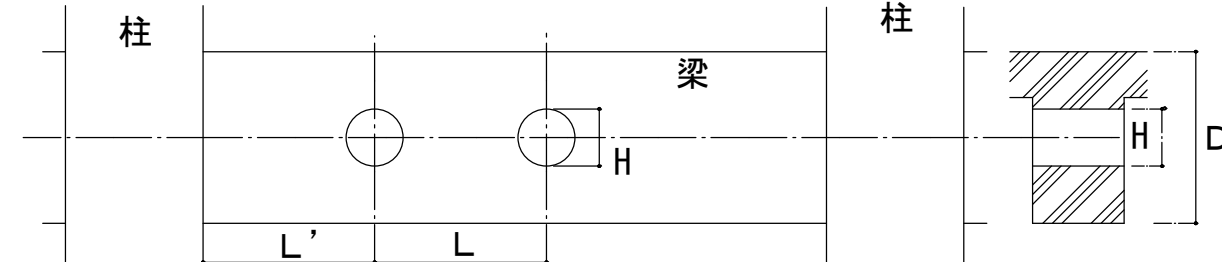
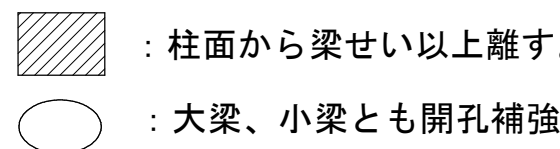
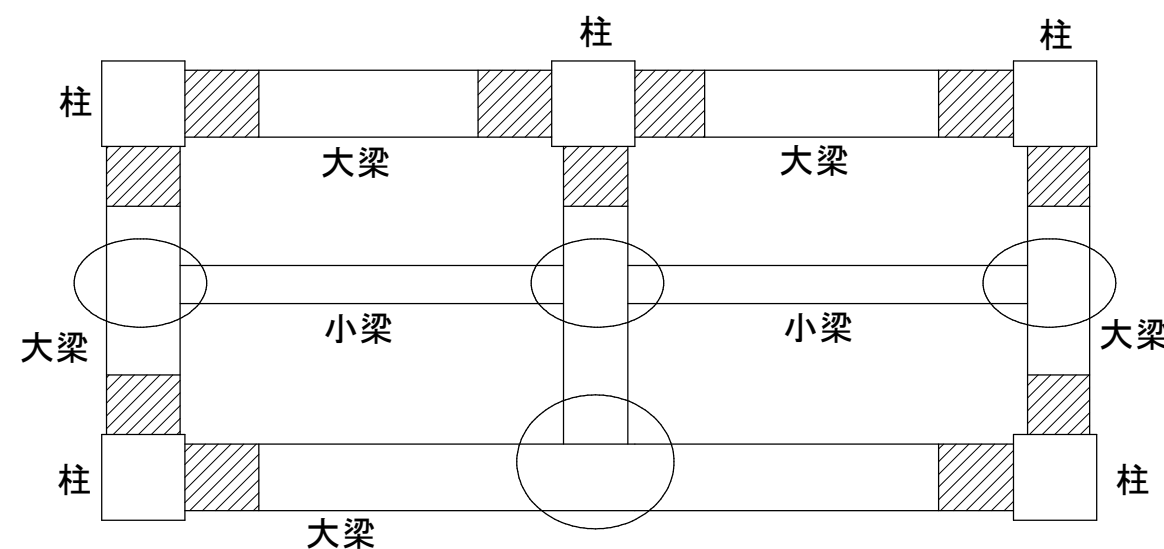
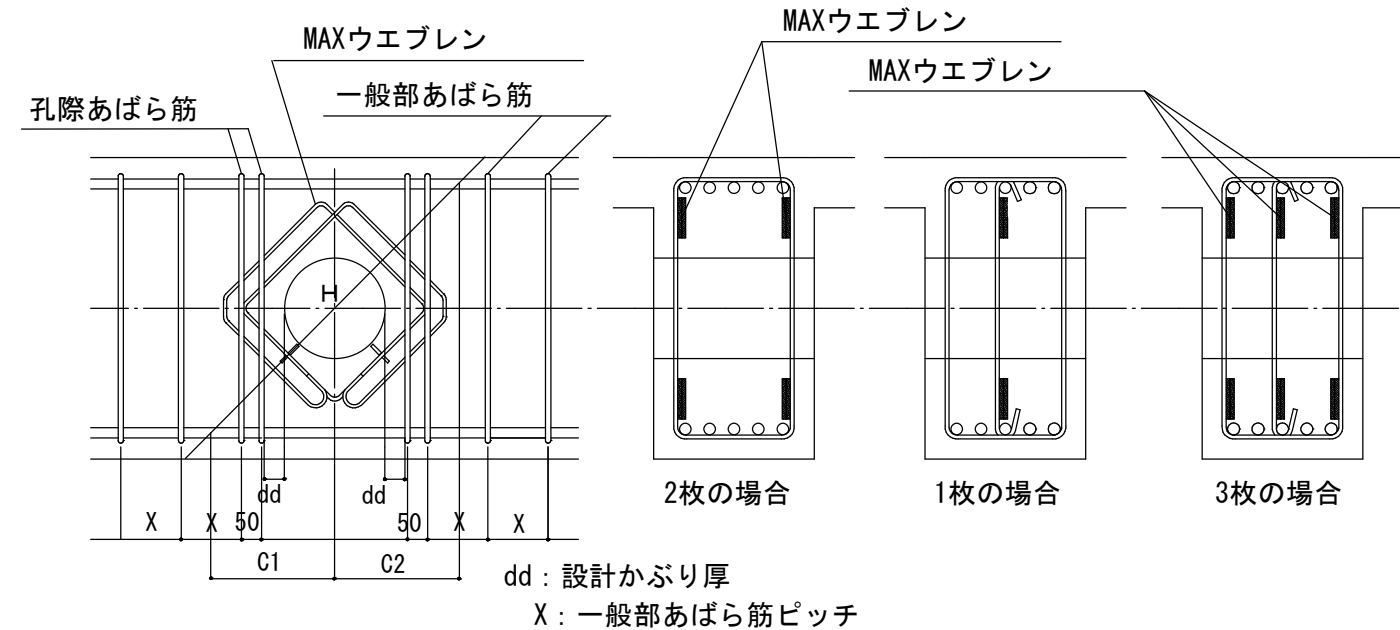
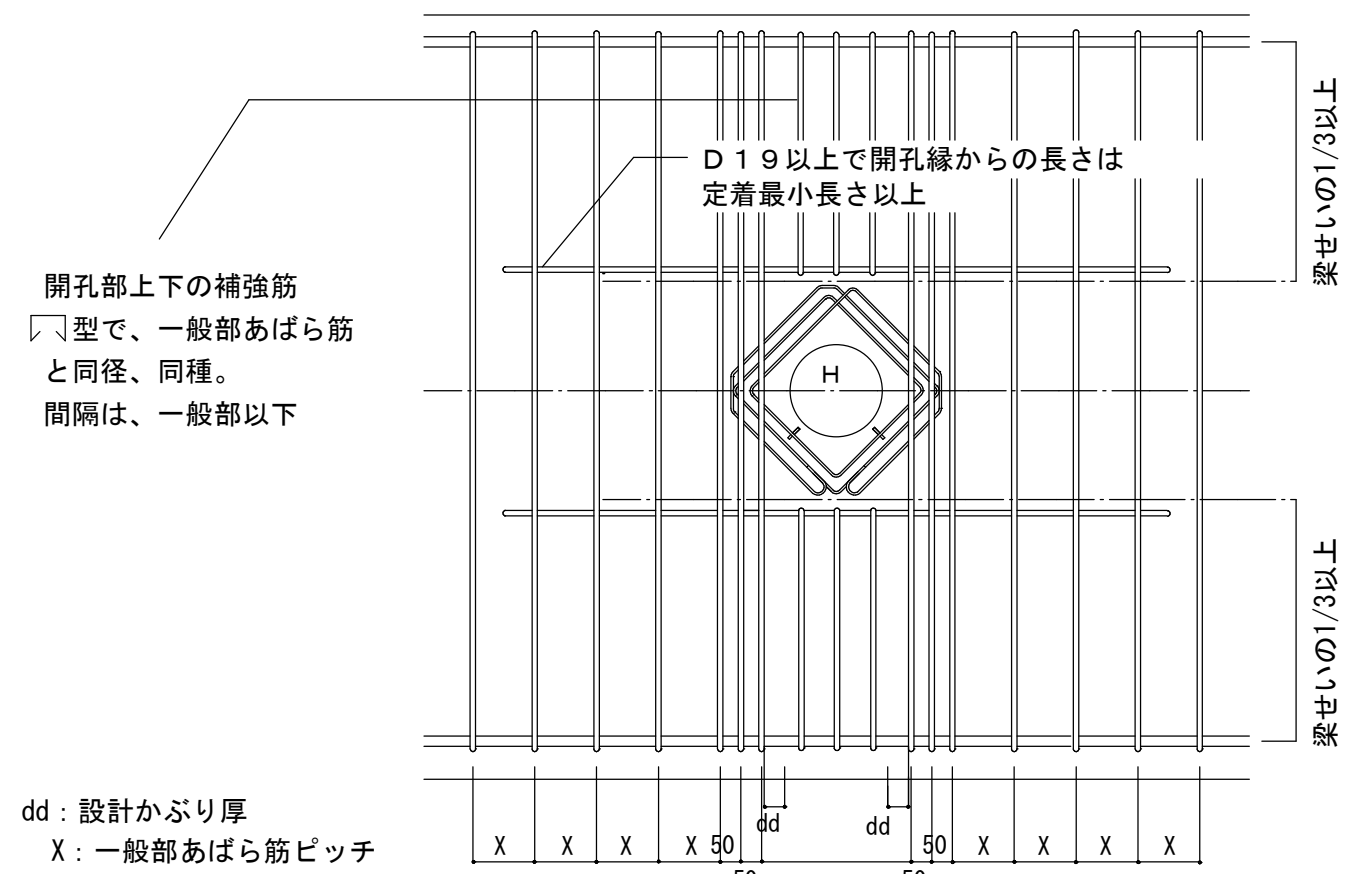
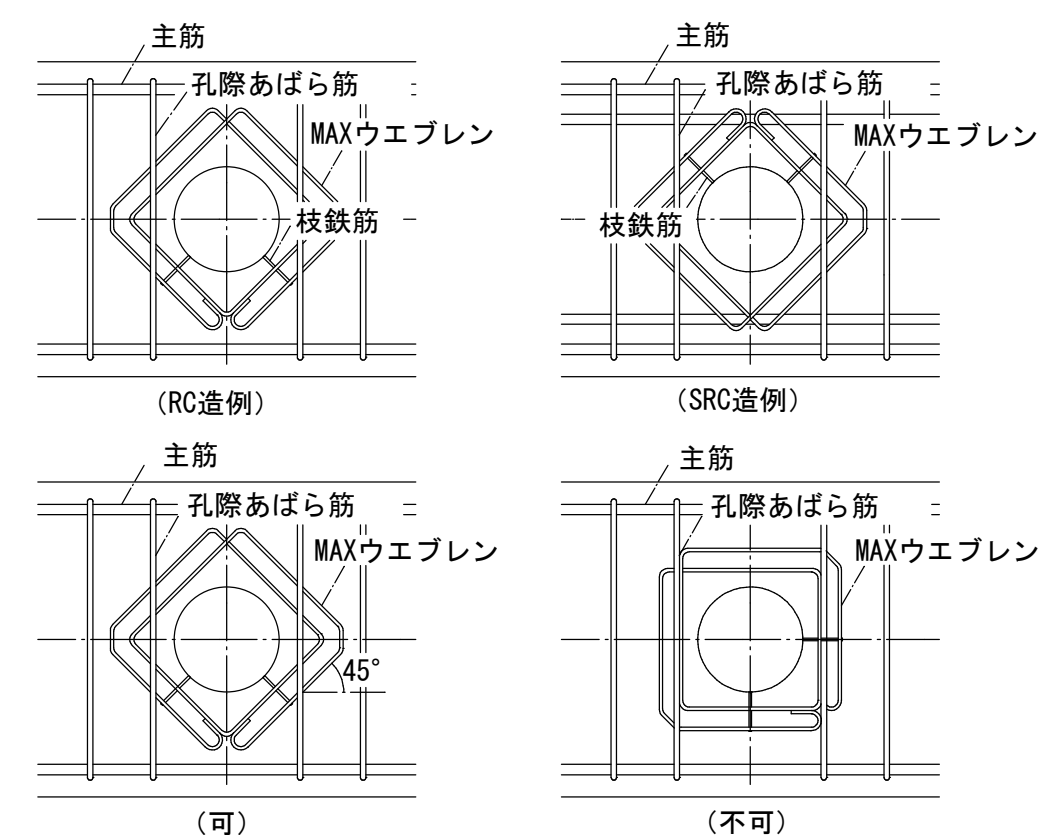
採 用	主 材 H－ A × B × t ₁ × t ₂	高力ボルト 径	フ ラ ン ジ			ウ ェ ブ			P	タイ プ
			ボルト 総 本数	外 側 添 板 2PL－ t ₂₁ × a ₁ × l ₁	内 側 添 板 4PL－ t ₂₂ × a ₂ × l ₁	ボルト 総 本数	添 板 2PL－ t ₂₁ × a ₁ × l ₂			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			
	H－ x x x x			x x	x x		x x			

梁400N級鋼

採 用	継 手 番 号	主 材 H-A×B×t ₁ ×t ₂	高 力 ボ ル ト 径	フ ラ ン ジ			ウ ェ ブ			P	タイ プ
				ボルト 総 本数	外 側 添 板 2PL- t ₂₁ ×a ₁ ×l ₁	内 側 添 板 4PL- t ₂₂ ×a ₂ ×l ₁	ボルト 総 本数	添 板 2PL- t ₁₁ ×a ₁ ×l ₂			
●	6J 1	H-200×100×5.5×8	16	16	16×100×290	—	4	6×140×170	60	1	
	6J 2	H-250×125×6×9	16	24	12×125×410	—	8	6×170×290	90	2	
●	6J 3	H-300×150×6.5×9	16	16	9×150×290	9×60×290	6	6×200×170	60	1	
	6J 4	H-300×150×6.5×9	20	16	9×150×290	9×60×290	4	6×200×170	120	1	
	6J 5	H-350×175×7×11	16	24	9×175×410	9×70×410	8	6×260×170	60	1	
	6J 6	H-350×175×7×11	20	16	9×175×290	9×70×290	6	6×260×170	90	1	
●	6J 7	H-400×200×8×13	20	24	9×200×410	9×80×410	8	9×260×170	60	1	
	6J 8	H-400×200×8×13	22	24	9×200×410	9×80×410	6	9×200×170	90	1	
	6J 9	H-450×200×9×14	20	24	12×200×410	12×80×410	10	9×200×170	60	1	
	6J 10	H-450×200×9×14	22	24	12×200×410	12×80×410	8	12×260×170	60	1	
	6J 11	H-500×200×10×16	20	24	12×200×410	12×80×410	10	9×320×170	60	1	
	6J 12	H-500×200×10×16	22	24	12×200×410	12×80×410	8	9×350×170	90	1	
	6J 13	H-600×200×11×17	20	24	12×200×410	12×80×410	16	9×440×290	120	2	
	6J 14	H-600×200×11×17	22	24	12×200×410	12×80×410	14	9×440×170	60	1	
	6J 15	H-148×100×6×9	16	16	16×100×290	—	4	6×80×290	—	6	
	6J 16	H-194×150×6×9	16	16	9×150×290	9×60×290	4	6×140×230	60	5	
	6J 17	H-194×150×6×9	20	16	9×150×290	9×60×290	4	6×140×230	60	5	
	6J 18	H-244×175×7×11	16	24	9×175×410	9×70×410	8	6×170×290	90	2	
	6J 19	H-244×175×7×11	20	16	9×175×290	9×70×290	4	9×140×170	60	1	
	6J 20	H-294×200×8×12	20	24	9×200×410	9×80×410	6	9×200×170	60	1	
	6J 21	H-294×200×8×12	22	24	9×200×410	9×80×410	4	9×200×170	120	1	
	6J 22	H-340×250×9×14	20	32	12×250×530	12×100×530	12	9×200×290	60	2	
	6J 23	H-340×250×9×14	22	24	12×250×410	12×100×410	6	9×200×170	60	1	
	6J 24	H-390×300×10×16	20	32	12×300×440	12×110×440	8	9×260×170	60	1	
	6J 25	H-390×300×10×16	22	24	12×300×350	12×110×350	6	9×260×170	90	1	
	6J 26	H-440×300×11×18	20	32	12×300×440	12×110×440	10	9×320×170	60	1	
	6J 27	H-440×300×11×18	22	32	12×300×440	12×110×440	10	9×320×170	60	1	
	6J 28	H-488×300×11×18	20	32	12×300×440	12×110×440	16	12×350×290	90	2	
	6J 29	H-488×300×11×18	22	32	12×300×440	12×110×440	10	12×320×170	60	1	
	6J 30	H-588×300×12×20	20	40	12×300×530	16×110×530	16	9×440×290	120	2	
	6J 31	H-588×300×12×20	22	32	12×300×440	16×110×440	14	9×440×170	60	1	
	6J 32	H-700×300×13×24	20	48	19×300×620	19×110×620	18	9×560×170	60	1	
	6J 33	H-700×300×13×24	22	40	19×300×530	19×110×530	18	9×560×170	60	1	
	6J 34	H-800×300×14×26	20	48	19×300×620	19×110×620	28	12×620×290	90	2	
	6J 35	H-800×300×14×26	22	40	19×300×530	19×110×530	20	12×710×290	60	1	
	6J 36	H-890×299×15×23	20	48	16×300×620	19×110×620	32	12×740×170	90	2	
	6J 37	H-890×299×15×23	22	40	16×300×530	19×110×530	24	12×710×290	60	1	
	6J 38	H-900×300×16×28	20	56	19×300×710	22×110×710	32	12×740×170	90	2	
	6J 39	H-900×300×16×28	22	48	19×300×620	22×110×620	24	16×680×290	60	1	
	6J 40	H-912×302×18×34	20	64	25×300×800	25×110×800	44	16×680×290	60	2	
	6J 41	H-912×302×18×34	22	56	25×300×710	25×110×710	40	16×680×290	60	2	
	6J 42	H-918×303×19×37	20	72	25×300×890	28×110×890	44	16×680×290	60	2	
	6J 43	H-918×303×19×37	22	56	25×300×710	28×110×710	40	16×680×290	60	2	
	6J 44	H-100×100×6×8	16	16	16×100×290	—	4	9×50×350	—	8	
	6J 45	H-125×125×6.5×9	16	24	12×125×410	—	4	6×80×350	—	8	
	6J 46	H-150×150×7×10	16	16	9×150×290	9×60×290	4	9×80×350	—	8	
	6J 47	H-150×150×7×10	20	16	9×150×290	9×60×290	4	9×80×350	—	8	
	6J 48	H-175×175×7.5×11	16	24	9×175×410	9×70×410	4	9×80×290	—	6	
	6J 49	H-175×175×7.5×11	20	16	9×175×290	9×60×290	4	9×80×290	—	6	
	6J 50	H-200×200×8×12	20	16	9×200×290	9×80×290	4	6×140×170	60	1	
	6J 51	H-200×200×8×12	22	16	9×200×290	9×80×290	4	6×140×170	60	1	
	6J 52	H-250×250×9×14	20	32	12×250×530	12×100×530	4	9×140×170	60	1	
	6J 53	H-250×250×9×14	22	24	12×250×410	12×100×410	4	9×140×170	60	1	
	6J 54	H-300×300×10×15	20	32	9×300×440	12×110×440	6	9×200×170	60	1	
	6J 55	H-300×300×10×15	22	24	9×300×350	12×110×350	6	9×200×170	60	1	
	6J 56	H-350×350×12×19	20	48	12×350×410	12×140×410	8	12×200×290	120	2	
	6J 57	H-350×350×12×19	22	32	12×350×290	12×140×290	6	12×200×170	90	1	
	6J 58	H-400×400×13×21	20	48	12×400×410	16×170×410	12	12×260×290	90	2	
	6J 59	H-400×400×13×21	22	48	12×400×410	16×170×410	8	12×260×170	60	1	
		H-××××			××	××		××			
		H-××××			××	××		××			
		H-××××			××	××		××			
		H-××××			××	××		××			

梁490N級鋼

採 用	継 手 番 号	主 材 H-A×B×t ₁ ×t ₂	高 力 ボ ル ト 径	フ ラ ン ジ			ウ ェ ブ			P	タイ プ
				ボルト 総 本数	2PL- t ₁₁ ×a ₁ ×l ₁	内 側 添 板 4PL- t ₁₂ ×a ₁ ×l ₁	ボルト 総 本数	添 板 2PL- t ₁₁ ×a ₁ ×l ₂			
	6J 60	H-400×200×8×13	20	24	9×200×410	9×80×410	12	9×260×290	90	2	
	6J 61	H-400×200×8×13	22	24	9×200×410	9×80×410	8	9×260×170	60	1	
	6J 62	H-450×200×9×14	20	32	12×200×530	12×80×530	12	9×320×290	120	2	
	6J 63	H-450×200×9×14	22	24	12×200×410	12×80×410	10	9×320×170	60	1	
	6J 64	H-500×200×10×16	20	32	12×200×530	12×80×530	12	9×380×170	60	1	
	6J 65	H-500×200×10×16	22	24	12×200×410	12×80×410	12	9×380×170	60	1	
	6J 66	H-600×200×11×17	20	32	12×200×530	12×80×530	24	9×380×290	60	2	
	6J 67	H-600×200×11×17	22	24	12×200×410	12×80×410	20	9×440×290	90	2	
	6J 68	H-390×300×10×16	20	40	12×300×530	12×110×530	12	9×260×290	90	2	
	6J 69	H-390×300×10×16	22	32	12×300×440	12×110×440	12	9×260×290	90	2	
	6J 70	H-440×300×11×18	20	48	12×300×620	12×110×620	20	9×320×290	60	2	
	6J 71	H-440×300×11×18	22	40	12×300×530	12×110×530	10	9×320×170	60	1	
	6J 72	H-488×300×11×18	20	48	12×300×620	12×110×620	16	12×350×290	90	2	
	6J 73	H-488×300×11×18	22	40	12×300×530	12×110×530	12	9×380×170	60	2	
	6J 74	H-588×300×12×20	20	56	12×300×710	16×110×710	24	12×380×290	60	2	
	6J 75	H-588×300×12×20	22	40	12×300×530	16×110×530	20	9×440×290	90	2	
	6J 76	H-700×300×13×24	20	72	19×300×890	19×110×890	32	12×500×290	60	2	
	6J 77	H-700×300×13×24	22	56	19×300×710	19×110×710	24	12×530×290	90	2	
	6J 78	H-800×300×14×26	20	72	19×300×890	19×110×890	36	12×560×290	60	2	
	6J 79	H-800×300×14×26	22	56	19×300×710	19×110×710	28	12×620×290	90	2	
	6J 80	H-890×299×15×23	20	64	16×300×800	19×110×800	48	12×740×290	60	2	
	6J 81	H-890×299×15×23	22	56	16×300×710	19×110×710	40	12×620×290	60	2	
	6J 82	H-900×300×16×28	20	80	19×300×980	22×110×980	48	12×740×290	60	2	
	6J 83	H-900×300×16×28	22	64	19×300×800	22×110×800	40	12×620×290	60	2	
	6J 84	H-912×302×18×34	20	88	25×300×1070	25×110×1070	48	12×740×290	60	2	
	6J 85	H-912×302×18×34	22	72	25×300×890	25×110×890	44	12×680×290	60	2	
	6J 86	H-918×303×19×37	20	96	25×300×1160	28×110×1160	48	12×740×290	60	2	
	6J 87	H-918×303×19×37	22	80	25×300×980	28×110×980	44	12×680×290	60	2	
	6J 88	H-300×300×10×15	20	40	9×300×530	12×110×530	6	9×200×170	60	1	
	6J 89	H-300×300×10×15	22	32	9×300×440	12×110×440	6	9×200×170	60	1	
	6J 90	H-350×350×12×19	20	48	12×350×410	12×140×410	12	12×200×290	60	2	
	6J 91	H-350×350×12×19	22	48	12×350×410	12×140×410	8	12×200×290	120	2	
	6J 92	H-400×400×13×21	20	80	12×400×650	16×170×650	12	12×260×290	90	2	
	6J 93	H-400×400×13×21	22	64	12×400×530	16×170×530	8	12×260×170	60	1	
		H-××××			×	×		×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		
		H-××××			×	×	×	×	×		

梁貫通孔補強材		M A X ウエブレン標準仕様書		テイエム技研株式会社		本社 〒893-0032 鹿児島県鹿屋市川西町3949 TEL:0994-43-4341 FAX:0994-43-4471		東京支店 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-11-4 テイエムビル1階 TEL:03-6661-2621 FAX:03-6661-2622 E-mail:tmgkty@tmgiken.com		大阪支店 〒536-0013 大阪市城東区鴨野東3-5-14 TEL:06-6965-1171 FAX:06-6965-1181 E-mail:tmosaka@tmgiken.com		福岡支店 〒810-0041 福岡市中央区大名1-9-27 TEL:092-711-7744 FAX:092-741-3343 E-mail:tmgkfukuoka@tmgiken.com	
<div>1. 一般事項</div> <div>(1) 本仕様書は、(財)日本建築センターの一般評定「BCJ評定-RC0097-06」に適合するように標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。</div> <div>(2) 本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」及び「建築工事標準仕様書・同解説（JASS5）鉄筋コンクリート工事」による。</div> <div>2. 適用範囲</div> <div>(1) 使用材料</div> <div>a) コンクリート設計基準強度</div> <div>21≦F_c≦80N/mm²</div> <div>b) 主筋</div> <div>普通鉄筋のうち以下の種類</div> <div>SD295A, SD295B, SD345, SD390, SD490</div> <div>高強度鉄筋のうち以下の種類</div> <div>SD590, SD685 ただし、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品</div> <div>c) あばら筋</div> <div>普通鉄筋のうち以下の種類</div> <div>SD295A, SD295B, SD345, SD390</div> <div>高強度鉄筋のうち以下の種類</div> <div>685N/mm², 785N/mm² 級または1275N/mm² 級高強度鉄筋のうち、建築基準法第37条第二号の規定に基づく国土交通大臣認定品</div> <div>d) 開孔補強筋</div> <div>ストロングフープ用棒鋼（MSRB-0005）KSS785</div> <div>(2) 開孔径および位置</div> <div>a) 開孔径 H</div> <div>あばら筋に普通強度鉄筋を用いる梁 100mm≦H≦750mm</div> <div>あばら筋に高強度鉄筋を用いる梁 100mm≦H≦450mm</div> <div>開孔の形状は円形または多角形とし、梁成の1/3以下とする。</div> <div>(多角形の場合は外接する円形とみなす。)</div> <div>b) 開孔中心間距離 L</div> <div>開孔中心間距離は、開孔径の3倍以上とする。また、隣り合う開孔径が異なる場合には、双方の開孔径の平均値の3倍以上とする。</div> <div>c) 柱際から開孔中心までの距離 L'</div> <div>柱面から梁せい以上離すこととする。</div> <div></div> <div>d) ヘリあきの最小寸法</div> <div>梁せい 450mm≦D<700mm ヘリあき 175mm</div> <div>梁せい 700mm≦D<900mm ヘリあき 200mm</div> <div>梁せい 900mm≦D ヘリあき 250mm</div>													
<div>e) 梁が交差する場合の梁面から開孔中心までの距離</div> <div>開孔補強筋が直交する梁の配筋と干渉しない範囲で開孔を設けることができる。</div> <div></div> <div>筋が直交する梁の配筋に干渉しない範囲で開孔可。</div> <div>3. 標準配筋図</div> <div>(1) M A X ウエブレンの取り付け位置</div> <div>M A X ウエブレンはあばら筋の内側に取り付ける。</div> <div>3枚以上施工する場合は中子筋へ取り付けるか、開孔補強筋を連続固定できるJ筋（ジョイント金具）により施工する。</div> <div>(2) 孔際あばら筋</div> <div>孔際あばら筋は、原則として一般部あばら筋と同種、同径、同本数とし、開孔部の両側に1組以上配筋する。位置は開孔縁から設計かぶり厚さを確保した位置に1組目を配筋し、複数組配筋する場合は、その間隔を50mmとする。</div> <div>4. 大開孔時の補強方法</div> <div>開孔径が400mm以上で主筋とM A X ウエブレンの最外位置との間隔が梁せいの1/3以上となる場合は右図に示す補強を行う。なお、この補強が必要となる条件は(財)日本建築センターの評定時に指導された最低基準であるので、開孔位置等の状況によっては図に示す数値以下であっても補強が必要となる場合がある。従って開孔部の上下補強については設計担当者と協議検討のうえ決定する。</div> <div>5. 施工要領</div> <div>(1) 標準的な施工順序</div> <div>a) R C 造</div> <div>(例) 1) 開孔位置の芯出しを行う。</div> <div>2) M A X ウエブレンをあばら筋内に挿入し、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。</div> <div>b) S R C 造</div> <div>(例) 1) あばら筋の配筋前に、鋼管スリーブにM A X ウエブレンを掛け、仮置きする。</div> <div>2) あばら筋を配筋後、枝鉄筋を下側または上側に向け所定の位置に固定する。</div> <div>(2) M A X ウエブレンの取り付け方向</div> <div>M A X ウエブレンはあばら筋に対して環状鉄筋が45° になるように取り付ける。</div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>													

MEMO		一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (口) 第2449号 滋賀県長浜市口分田町350番地7		藤田建築設計事務所 TEL:0749-63-4500 FAX:0749-56-3018		TITLE 豊公園再整備倉庫棟他新築工事 【倉庫棟】 MAXウエブレン 標準仕様書		SCALE A1: A3:		CHECK DEAT		DRAWN DEAT		SEAL		SHEET NO S 07 23	
										一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵							

一級建築士 第 254743 号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号

MAXウェブレ 寸法・重量表

d40型(かぶり厚40mm仕様 単位mm)

呼び径	開孔径	適用孔径		S6-2R	S8-2R	S10-2R	S13-2R	S16-2R	S16-3R
100	106 φ	86 ～ 106	内環	193	195	197	200	203	203
			中環						363
			外環	265	275	297	330	363	523
			縦外形	307	310	322	339	356	504
			横外形	333	339	358	386	414	512
			重量 kg	0.49	0.78	1.22	2.24	3.69	6.54
125	132 φ	112 ～ 132	内環	219	220	222	225		228
			中環						388
			外環	291	300	322	355	388	548
			縦外形	344	345	357	374	391	539
			横外形	369	375	393	421	449	548
			重量 kg	0.55	0.85	1.33	2.44	4.00	7.00
150	158 φ	138 ～ 158	内環	245	246		248	254	254
			中環						414
			外環	317	326	348	381	414	574
			縦外形	381	382	394	411	428	576
			横外形	406	411	430	458	486	584
			重量 kg	0.60	0.93	1.45	2.65	4.33	7.49
175	183 φ	163 ～ 183	内環	270	271	273	276	279	279
			中環						439
			外環	342	351	373	406	439	599
			縦外形	416	418	429	446	463	611
			横外形	441	447	465	493	521	620
			重量 kg	0.65	1.01	1.56	2.85	4.64	7.96
200	209 φ	189 ～ 209	内環	296	297	299	302	305	305
			中環						465
			外環	368	377	399	432	465	625
			縦外形	453	454	466	483	500	648
			横外形	478	483	502	530	558	656
			重量 kg	0.70	1.09	1.68	3.06	4.96	8.44
225	235 φ	215 ～ 235	内環	322	323	325	328	331	331
			中環						491
			外環	394	403	425	458	491	651
			縦外形	490	491	503	520	537	685
			横外形	515	520	539	567	595	693
			重量 kg	0.75	1.17	1.79	3.26	5.29	8.93
250	260 φ	240 ～ 260	内環		348	350	353	356	356
			中環						516
			外環		428	450	483	516	676
			縦外形		526	538	555	572	720
			横外形		556	574	602	630	729
			重量 kg		1.25	1.91	3.46	5.60	9.40
275	286 φ	266 ～ 286	内環		374	376	379	382	382
			中環						542
			外環		454	476	509	542	702
			縦外形		563	575	592	609	757
			横外形		592	611	639	667	765
			重量 kg		1.33	2.02	3.67	5.92	9.89
300	312 φ	292 ～ 312	内環		400	402	405	408	408
			中環						568
			外環		480	502	535	568	728
			縦外形		600	611	629	646	794
			横外形		629	648	676	704	802
			重量 kg		1.41	2.14	3.88	6.25	10.37
325	338 φ	318 ～ 338	内環		426	428	431	434	434
			中環						594
			外環		506	528	561	594	754
			縦外形		637	648	665	682	830
			横外形		666	685	713	741	839
			重量 kg		1.49	2.25	4.08	6.57	10.86
350	370 φ	344 ～ 370	内環		458	460	463	466	466
			中環						626
			外環		538	560	593	626	786
			縦外形		682	693	711	728	876
			横外形		711	730	758	786	884
			重量 kg		1.59	2.40	4.34	6.97	11.46

d50型(かぶり厚50mm仕様 単位mm)

呼び径	開孔径	適用孔径		S6-2R	S8-2R	S10-2R	S13-2R	S16-2R	S16-3R
100	106 φ	86 ～ 106	内環	213	215	217	220	223	223
			中環						383
			外環	285	295	317	350	383	543
			縦外形	335	338	350	367	384	532
			横外形	361	367	386	414	442	541
			重量 kg	0.54	0.84	1.32	2.42	3.95	6.92
125	132 φ	112 ～ 132	内環	239	240	242	245	248	248
			中環						408
			外環	311	320	342	375	408	568
			縦外形	372	374	385	402	419	567
			横外形	398	403	422	450	478	576
			重量 kg	0.59	0.92	1.43	2.61	4.26	7.39
150	158 φ	138 ～ 158	内環	265	266	268	271	274	274
			中環						434
			外環	337	346	368	401	434	594
			縦外形	409	411	422	439	456	604
			横外形	434	440	458	486	514	613
			重量 kg	0.64	1.00	1.55	2.82	4.59	7.88
175	183 φ	163 ～ 183	内環	290	291	293	296	299	299
			中環						459
			外環	362	371	393	426	459	619
			縦外形	444	446	457	474	492	639
			横外形	470	475	494	522	550	648
			重量 kg	0.69	1.08	1.66	3.02	4.90	8.34
200	209 φ	189 ～ 209	内環	316	317	319	322	325	325
			中環						485
			外環	388	397	419	452	485	645
			縦外形	481	483	494	511	528	676
			横外形	506	512	530	558	586	685
			重量 kg	0.74	1.16	1.78	3.23	5.22	8.83
225	235 φ	215 ～ 235	内環	342	343	345	348	351	351
			中環						511
			外環	414	423	445	478	511	671
			縦外形	518	519	531	548	565	713
			横外形	543	549	567	595	623	722
			重量 kg	0.80	1.24	1.89	3.43	5.55	9.32
250	260 φ	240 ～ 260	内環		368	370	373	376	376
			中環						536
			外環		448	470	503	536	696
			縦外形		555	566	583	600	748
			横外形		584	603	631	659	757
			重量 kg		1.32	2.01	3.63	5.86	9.79
275	286 φ	266 ～ 286	内環		394	396	399	402	402
			中環						562
			外環		474	496	529	562	722
			縦外形		592	603	620	637	785
			横外形		621	639	667	695	794
			重量 kg		1.40	2.12	3.84	6.18	10.27
300	312 φ	292 ～ 312	内環		420	422	425	428	428
			中環						588
			外環		500	522	555	588	748
			縦外形		628	640	657	674	822
			横外形		657	676	704	732	830
			重量 kg		1.48	2.24	4.05	6.51	10.76
325	338 φ	318 ～ 338	内環		446	448	451	454	454
			中環						614
			外環		526	548	581	614	774
			縦外形		665	676	694	711	859
			横外形		694	713	741	769	867
			重量 kg		1.56	2.36	4.25	6.83	11.25
350	370 φ	344 ～ 370	内環		478	480	483	486	486
			中環						646
			外環		558	580	613	646	806
			縦外形		710	722	739	756	904
			横外形		739	758	786	814	912
			重量 kg		1.66	2.50	4.51	7.23	11.84

d50型(かぶり厚50mm仕様 単位mm)

呼び径	開孔径	適用孔径		S10-2R	S13-2R	S16-2R	S16-3R
400	420 φ	400 ~ 420	内環	530	533	536	536
			中環				696
			外環	630	663	696	856
			縦外形	792	810	827	975
			横外形	829	857	885	983
			重量 kg	2.72	4.91	7.86	12.78
450	470 φ	450 ~ 470	内環	580	583	586	586
			中環				746
			外環	680	713	746	906
			縦外形	863	880	897	1045
			横外形	900	928	956	1054
			重量 kg	2.95	5.30	8.48	13.72
500	524 φ	504 ~ 524	内環	634	637	640	640
			中環				800
			外環	734	767	800	960
			縦外形	940	957	974	1122
			横外形	976	1004	1032	1130
			重量 kg	3.19	5.73	9.15	14.73
550	582 φ	562 ~ 582	内環	692	695	698	698
			中環				858
			外環	792	825	858	1018
			縦外形	1022	1039	1056	1204
			横外形	1058	1086	1114	1212
			重量 kg	3.45	6.20	9.88	15.81
600	630 φ	610 ~ 630	内環	740	743	746	746
			中環				906
			外環	840	873	906	1066
			縦外形	1089	1107	1124	1272
			横外形	1126	1154	1182	1280
			重量 kg	3.66	6.58	10.48	16.71
650	682 φ	662 ~ 682	内環	792	795	798	798
			中環				958
			外環	892	925	958	1118
			縦外形	1163	1180	1197	1345
			横外形	1199	1227	1255	1354
			重量 kg	3.90	6.99	11.13	17.69
700	720 φ	690 ~ 720	内環	830	833	836	836
			中環				996
			外環	930	963	996	1156
			縦外形	1217	1234	1251	1399
			横外形	1253	1281	1309	1407
			重量 kg	4.07	7.29	11.60	18.40
750	750 φ	730 ~ 750	内環	860	863	866	866
			中環				1026
			外環	960	993	1026	1186
			縦外形	1259	1276	1293	1441
			横外形	1296	1324	1352	1450
			重量 kg	4.20	7.53	11.97	18.96

杭 施 工 に 於 け る 標 準 仕 様 書

（１） 原則

- ・ 本工事に於いて施工者は、詳細な杭工事施工図及び施工要領書（計画書）を作成し、
監理者の承認を得た後、杭工事施工に着手出来る。
- ・ 施工に際しては、通り心より各杭中心位置を正確に求めて、確実に高精度の杭施工を行わなければならない。

（２） 杭施工前

- ・ 杭中心位置を実測してマーク（杭の位置決め）を設ける。
- ・ マーク後確実に得る為日時を変えて別の作業員が再度確認し、誤差のない事を厳しく再測定する事。この時、杭中心間の対角線長も測定確認する事。

（３） 杭施工後

- ・ 杭打設後、施工図に示された位置との施工誤差（偏心量）を正確に実測して、結果及び理由書を直ちに監理者に提出しなければならない。
- ・ 偏心杭が発見された場合は、直ちに施工者は監理者にその旨を報告すると共に、請負者にて、地中梁及び基礎の補強計画書、補強要領図の作成を行い製本承認書類として、３部監理者に提出して、監理者のチェックを受け承認を得てから配筋等の加工を開始する事。承認を得られない限り、配筋等の加工は認めない。又工期を理由に加工を開始する事も認めない。
- ・ 補強工事費（補強計算、補強要領図の作成、書類の作成、各部の配筋の補強工事等の全てを含む）及び監理者の杭偏心に対して行うチェック費用の全ては、請負者の負担とする。

（４） その他

- ・ 地中に設計図書にない埋設物や転石等の地中障害物を発見したり、又はそれらを避けながら施工しなければならない事が判明した時は、直ちに監理者に報告し指示書を得てから施工する事。監理者の指示書なしに、無断で施工してはならない。

（５） 偏心杭に対する検討要項

- ・ 平面的な杭の偏心について、杭の反力中心の移動による偏心モーメント処理は地中梁で行う事とする。
- ・ 柱中心より外部方向への杭移動については、端あき寸法を確保出来るよう、ベースの増打補強を行う事とし、増打寸法が５０mm以下の場合は無筋コンクリート補強、５０mmを超える場合はベース筋と同径の鉄筋により、補強を施す事とする。鉄筋ピッチは設計図書ピッチ以下とする。
- ・ 杭心の偏心量が著しい場合は、杭の耐力等の検討も必要な場合があるので監理者と十分協議し承認を得る事とする。

（６） 杭天端レベルに対する検討要項

- ・ 設計図にて指示されているベース底＋１００mmを杭の天端とすることが原則であるが、施工時の精度により、相違が生じた場合は、下記の要領にて判定し、補強又は補修を行う事とする。
- ・ 上記補強、補修については、補強要領書の作成を行い、監理者の承認を受けること。又これに関わる費用は請負者の負担とする。

CASE－１ （下図参照）

杭天端がベース底＋５０～１００にて納まっている場合は、特に補強検討を要しない。

CASE－２ （下図参照）

杭天端がベース底＋１００を超え＋２００迄はベース厚さを杭天端位置－１００から確保する事。

CASE－３ （下図参照）

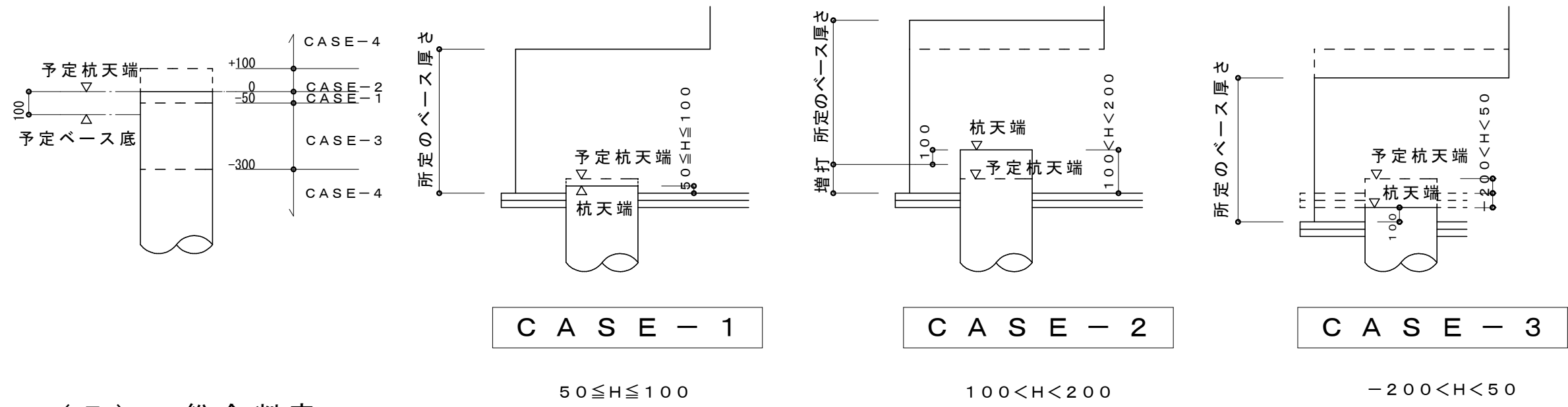
杭天端がベース底＋５０未満でかつ－２００迄の場合はベース底位置を杭天端－１００

の位置迄掘下げるものとして基礎のレベルを全体に下げる事。

CASE－４

杭天端がベース底－２００を超えてさらに深止りをした場合、又は＋２００を超え高止り

をした場合は監理者の指示に従う事。

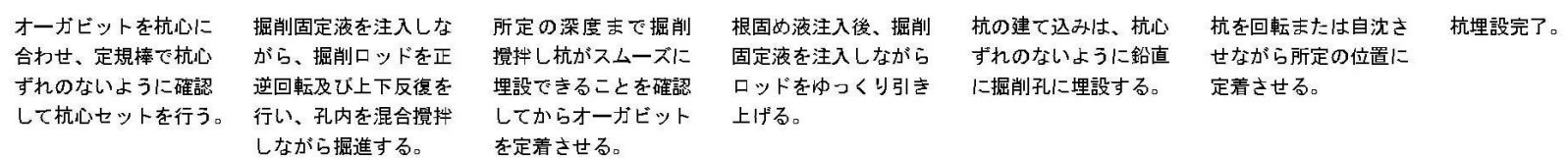


（７） 総合判定

- ・ 平面的杭の偏心、杭天端レベルに応じて、基礎単位で基礎の形状を、安全側に変形させて補強等を行う事。

(プレボーリング根固め工法)

FP-BEST工法（TAOP-0111、0112、0113）（以下、本工法とす）は、断り既成コンクリート杭を用いたフルボーリング根固の杭工法の一つの増大された方法である。掘削は、掘削養生を有する掘削コックを用い、ミラセバ（繊維強化樹脂の粉末）を混入した掘削固定液（掘削液）と杭間固定液を兼ねた一回混合の溶液：水：セメント＝10：0.50、ミラセバセメント比＝0.75%、4週掘削深さ＝90mm/2回以上）を注入し、オーガモータを回転させ、逆回転および掘削押入れ装置を5～6mm程度掘削孔内に反復し、所定深さまで掘削押入れを繰り返す（掘削毎50mm）を繰り返す。さらに、掘削液から上方より注ぎ込む範囲に、掘削セメント（2m）と同量の根固液（水：セメント比＝100%、ミラセバセメント比＝0.75%、4週間掘削深さ＝150mm/2回以上）を注入しながら、掘削セメントと混合押入れを行い、根固の部分を完成させる。そして、掘削固定液を掘削孔から掘削押入れ装置を止めて引き上げる。その後、所定深さの充填液を注入した掘削孔内に基礎ぐいを建て込み、自集または回転により埋設して、所定深さの根固め球状杭にしたい先端を設置する工法である。



- (1) 本工事に先立ち試験掘りを行う。
- (2) 試験掘りは、監督員の指示により指定位置・箇所を協議して行うことができる。
- (3) 試験掘りはオーガヘッド先端に付着する土質を採取し、ボーリングデータと比較検討する。
- (4) 掘削機電流計による、全長もしくは杭先端付近の掘削抵抗を測定し、ボーリングデータと対比すること。

建築工事請負業者は、施工計画書を杭工事着工前までに監督員に提出し、承認を得るものとする。
施工計画書には次の事項を明記する。

- イ 建築工事請負業者の杭工事責任者名
- ロ 杭施工業者名、施工責任者名
- ハ 施工機械及び設備の種類、台数及び配置（杭打機本体及び掘削電動機的能力を明記する）

- イ ピットの中心を所定の杭心に合せさせ、混攪機ロッドの垂直性を保ちつつ、所定の深度まで攪拌する。
ロ 攪拌はオーガ先端より根掘液を注入しながら、正転・逆転により良好なシルセメント液とならびながら行う。
ハ 所定の深度に到達したら攪拌の良否を判断するため、5～10cm程度、正転・逆転で上下反復を数回行う。
ニ ハの作業が終了すると根掘め液を注入しながら、所定の根掘長（2m）まで上下反復を繰り返し、当該土壌と混合攪拌し、根掘め球根を製造する。
- ホ 所定の根掘め液を注入した後、逆転で孔内パンプスをつくさないようにロッドをゆっくり引き上げると。その時、要に根掘固定液を注入しながら行う。

- | | | |
|-----|-------------------------|--------|
| | 試験体採取回数 | 供試体個数 |
| 試験杭 | 試験杭ごとに1回採取 | 3供試体／回 |
| 本杭 | 単杭は30本に1回、継杭は20setに1回採取 | 3供試体／回 |

ボーリング柱状図

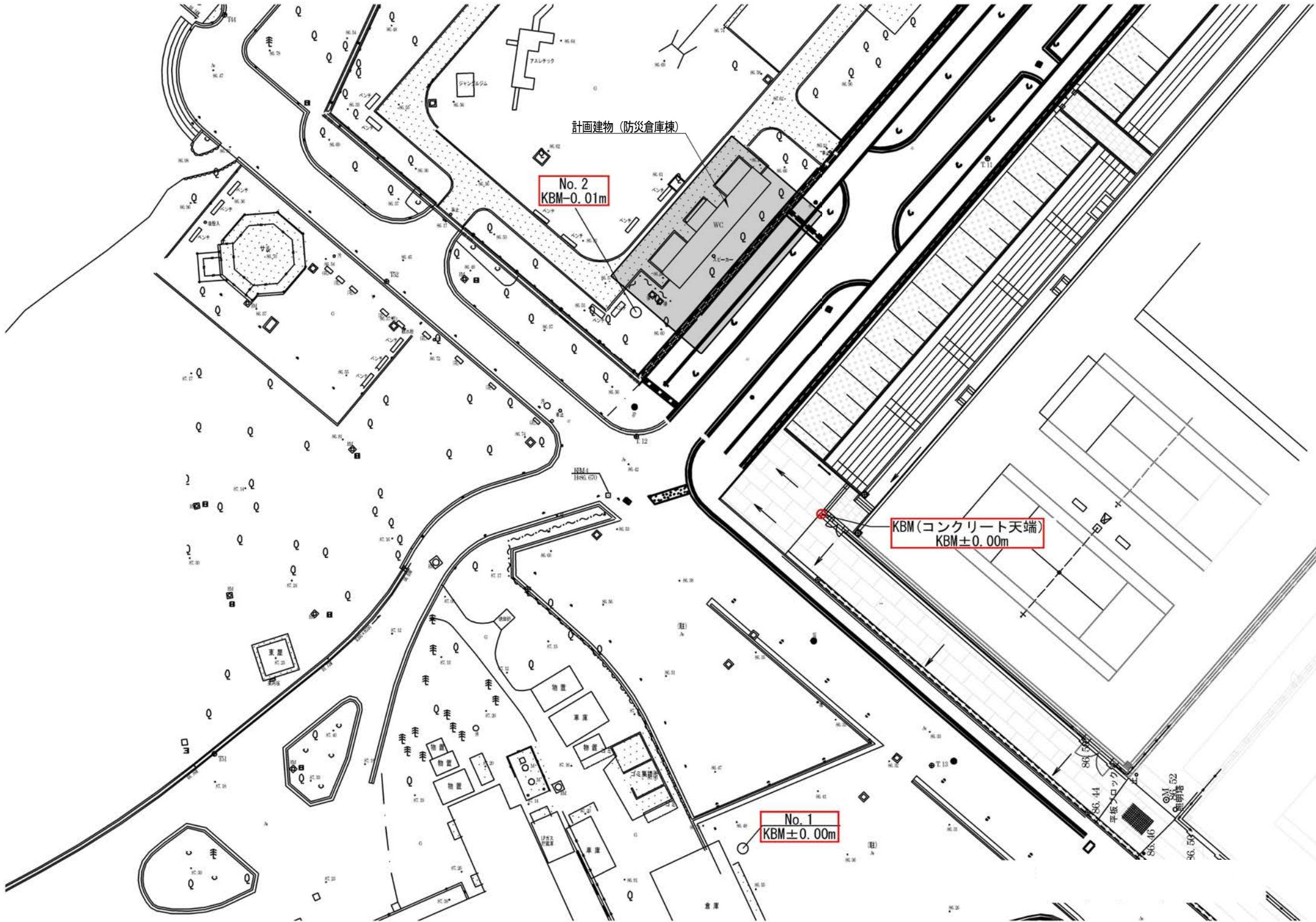
調査名 豊公園再整備管理施設他設計業務委託

ボーリングNo N 2 6 - 1 2 - 1 4

事業・工事名

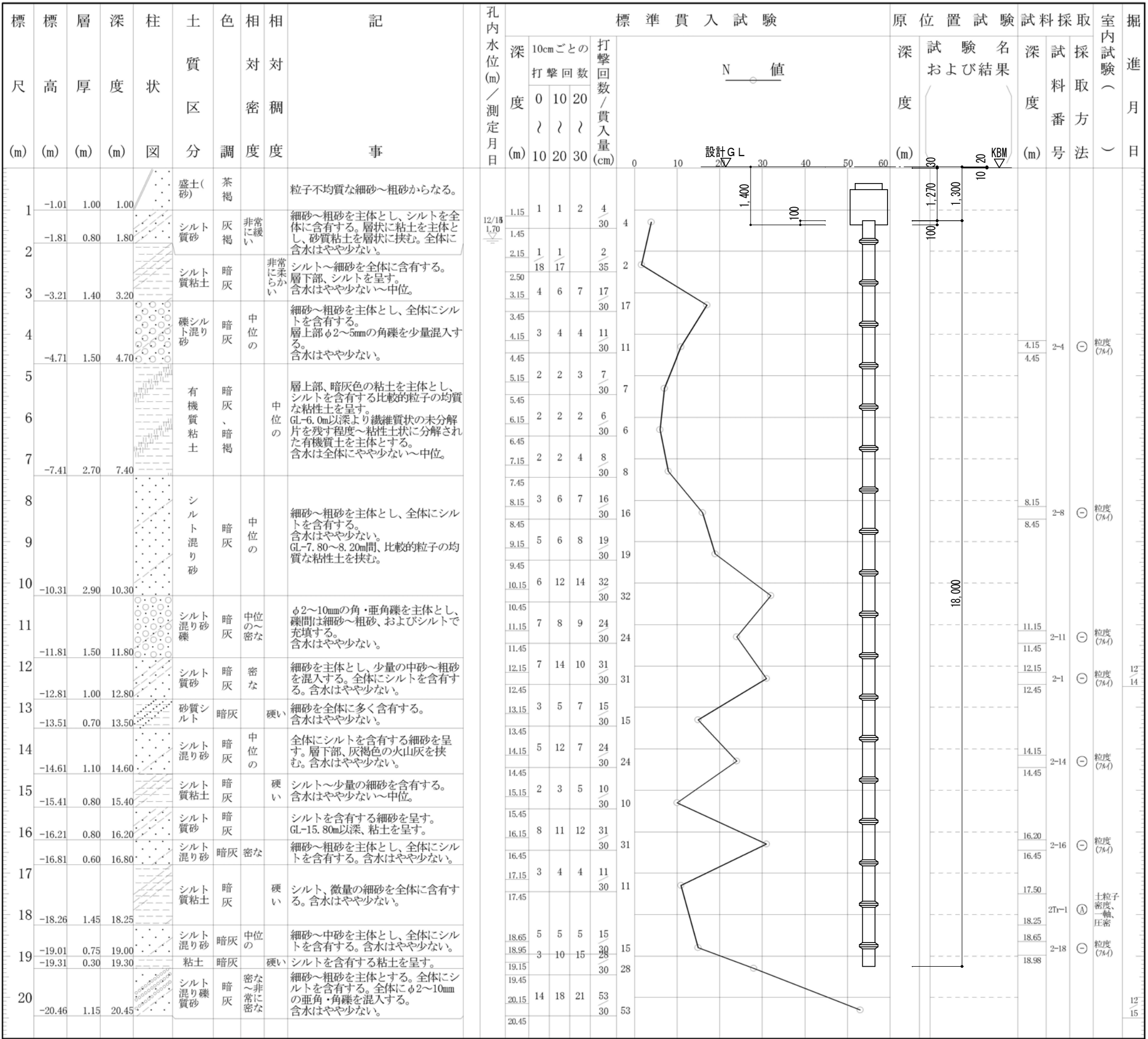
シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	滋賀県長浜市公園町		北緯	35° 22' 38.30"	
発注機関	株式会社 滋賀ソイルコンサルタント		調査期間	令和 4 年 12 月 14 日 ~ 4 年 12 月 15 日		東経	136° 15' 47.05"	
調査業者名	株式会社 滋賀ソイルコンサルタント		主任技師	市川 篤		ボーリング責任者	平林 博	
調査業者名	株式会社 滋賀ソイルコンサルタント		主任技師	市川 篤		ボーリング責任者	平林 博	
孔口標高	KBM	角	180°	方	北 0°	地盤勾配	コ	ハンマー落下用具
孔口標高	-0.01m	度	0°	向	270°	地盤勾配	ア	半自動落下装置
総掘進長	20.45m	度	0°	向	180°	地盤勾配	シ	ポン
総掘進長	20.45m	度	0°	向	180°	地盤勾配	シ	ポン
総掘進長	20.45m	度	0°	向	180°	地盤勾配	シ	ポン



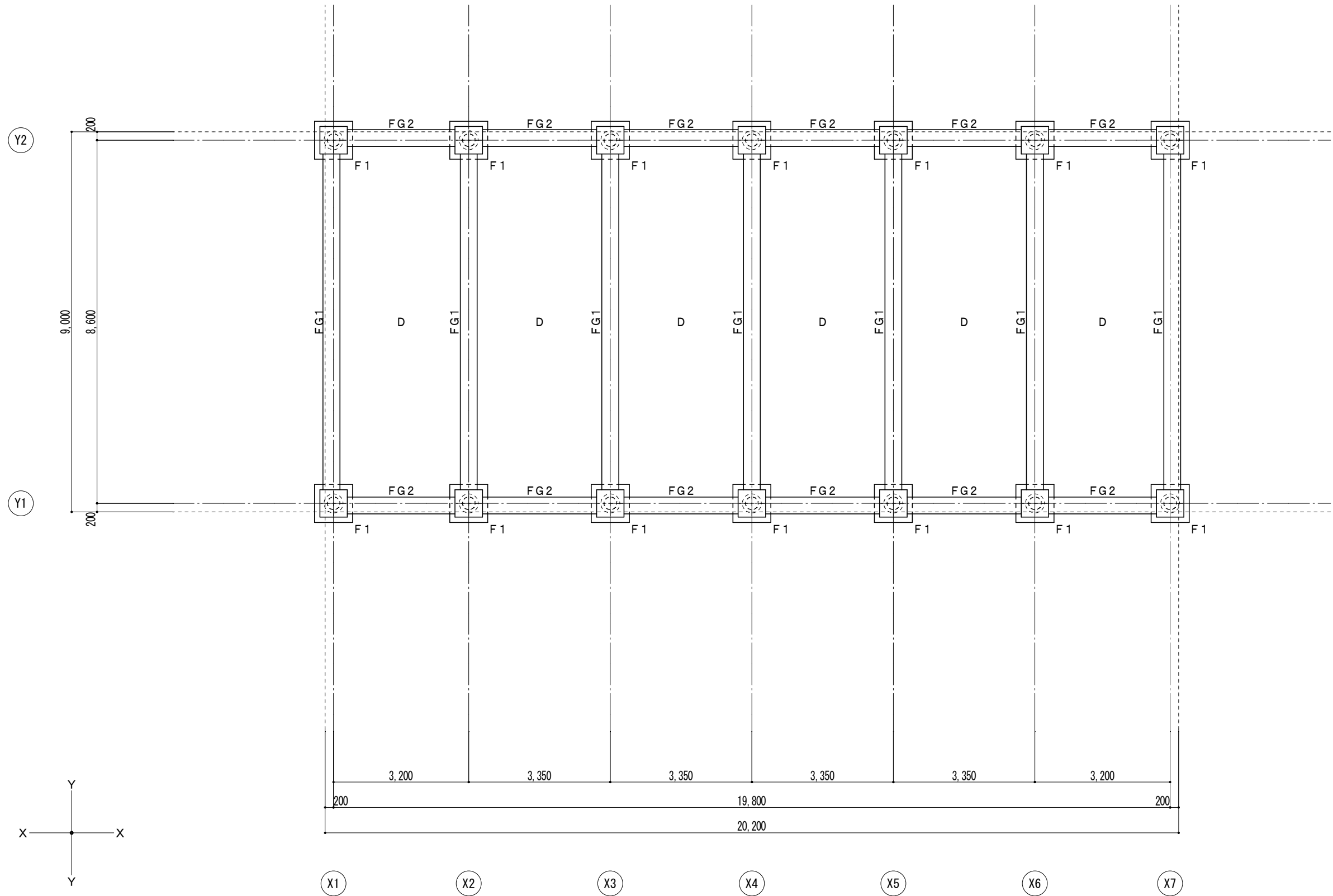
ボーリング調査位置図

※ 設計GL = KBM+0.02m



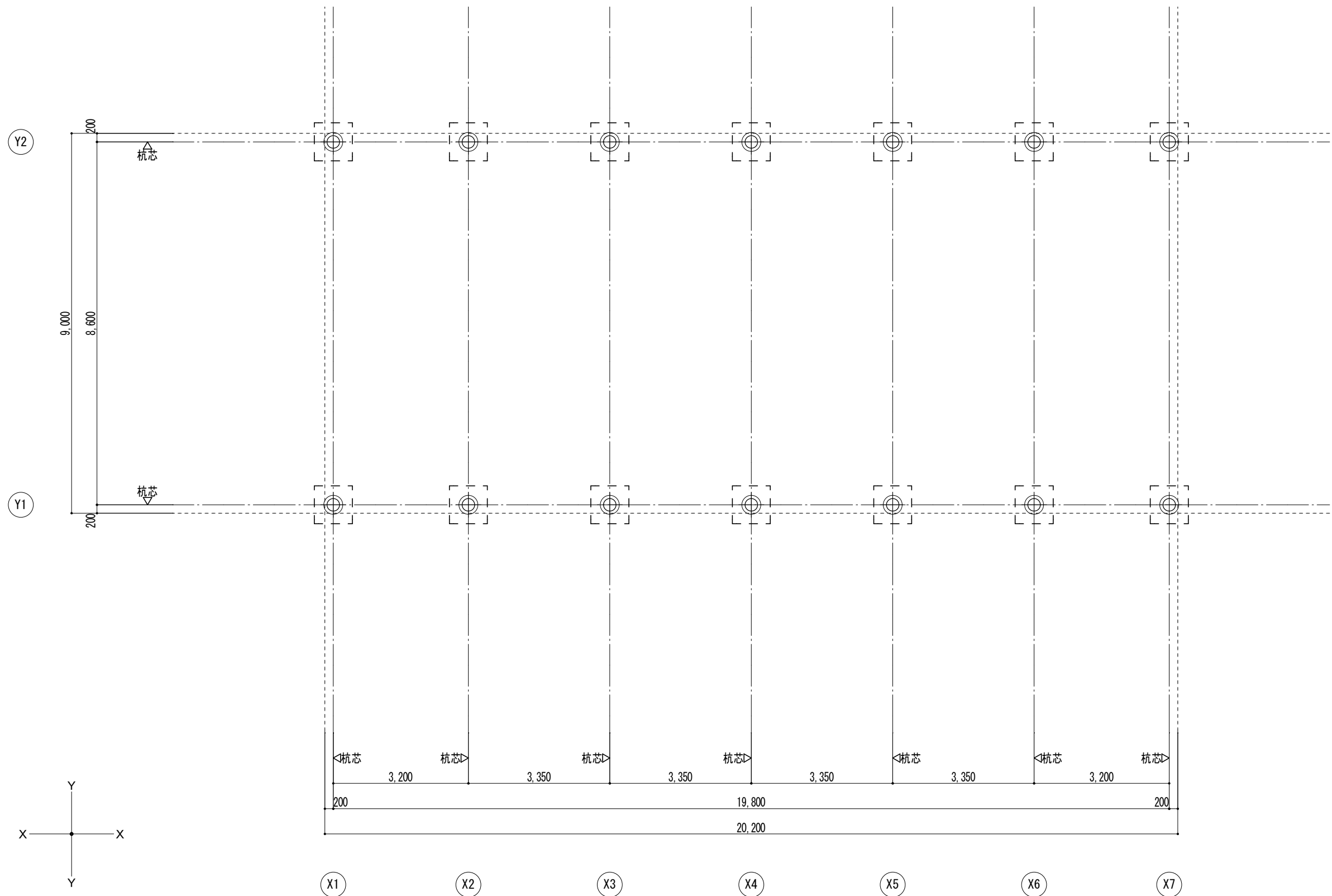
ボーリング柱状図 No. 2

一級建築士 第 254743 号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号



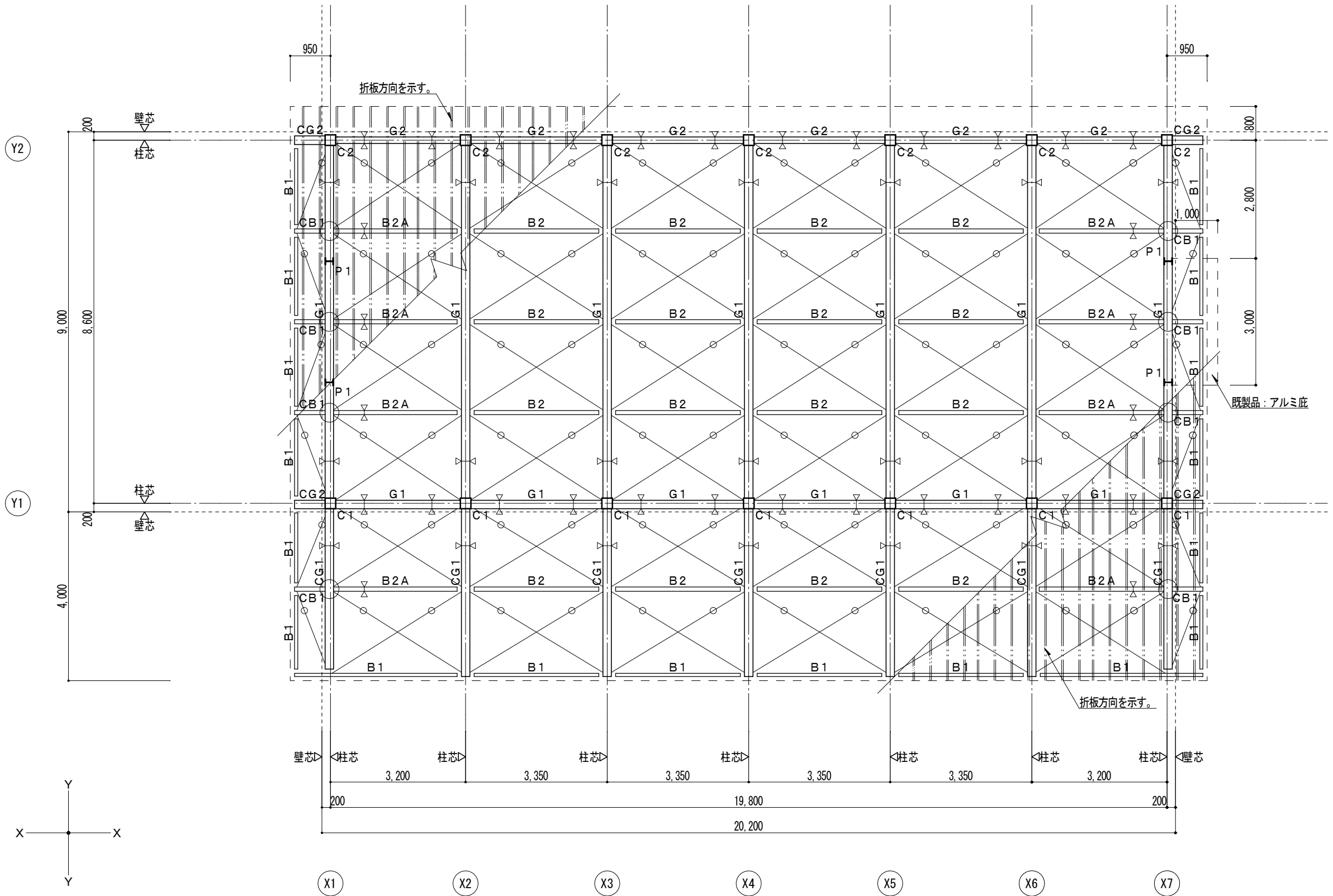
基礎伏図 1/100

・ D …… 土間コンクリート t=150 S10@200 (シングルクロス) を示す。
※ 土間下は、地盤改良 (改良厚 600) を行うこと。



杭伏図 1/100

・ ○ …… 鋼杭 (上杭 φ304.5 B種 L=9.0m +下杭 φ304.5 A種 L=9.0m) を示す。



1階柱R階床梁伏図 1/100

伏図共通事項・凡例

- ・ 本図面は見上げ図とする。
- ・ 特記無き小梁・間柱配置は均等割付とする。
- ・ □◁▷ : ジョイント位置を示す。
- ※ 梁及び柱ジョイント位置は、現場状況、搬入条件等考慮の上、原寸図・施工図作成時に調整し、係員承認後最終決定とする。
- ・ ○―○ : 水平ブレース 1-M16 を示す。(B付・JIS規格品)

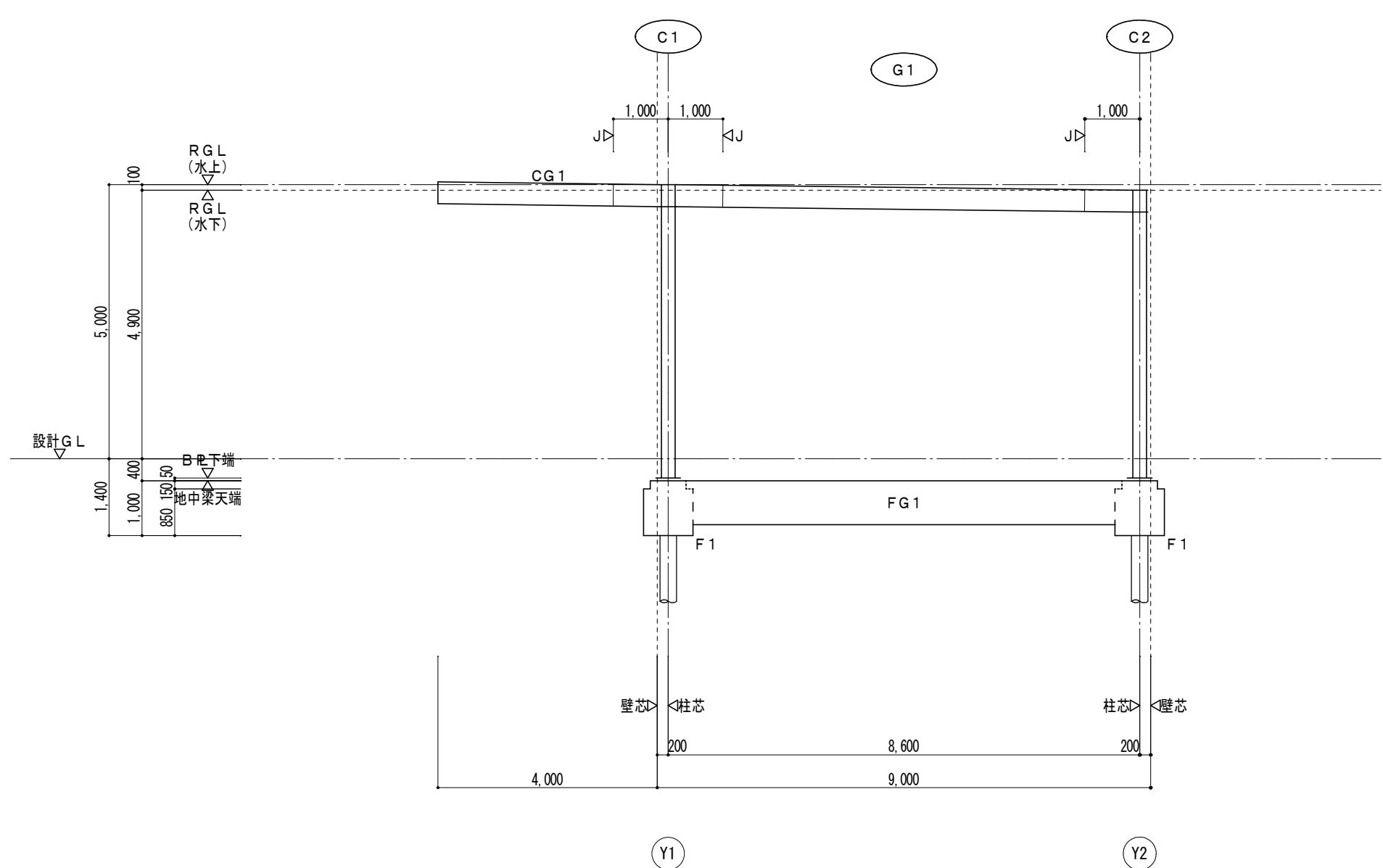
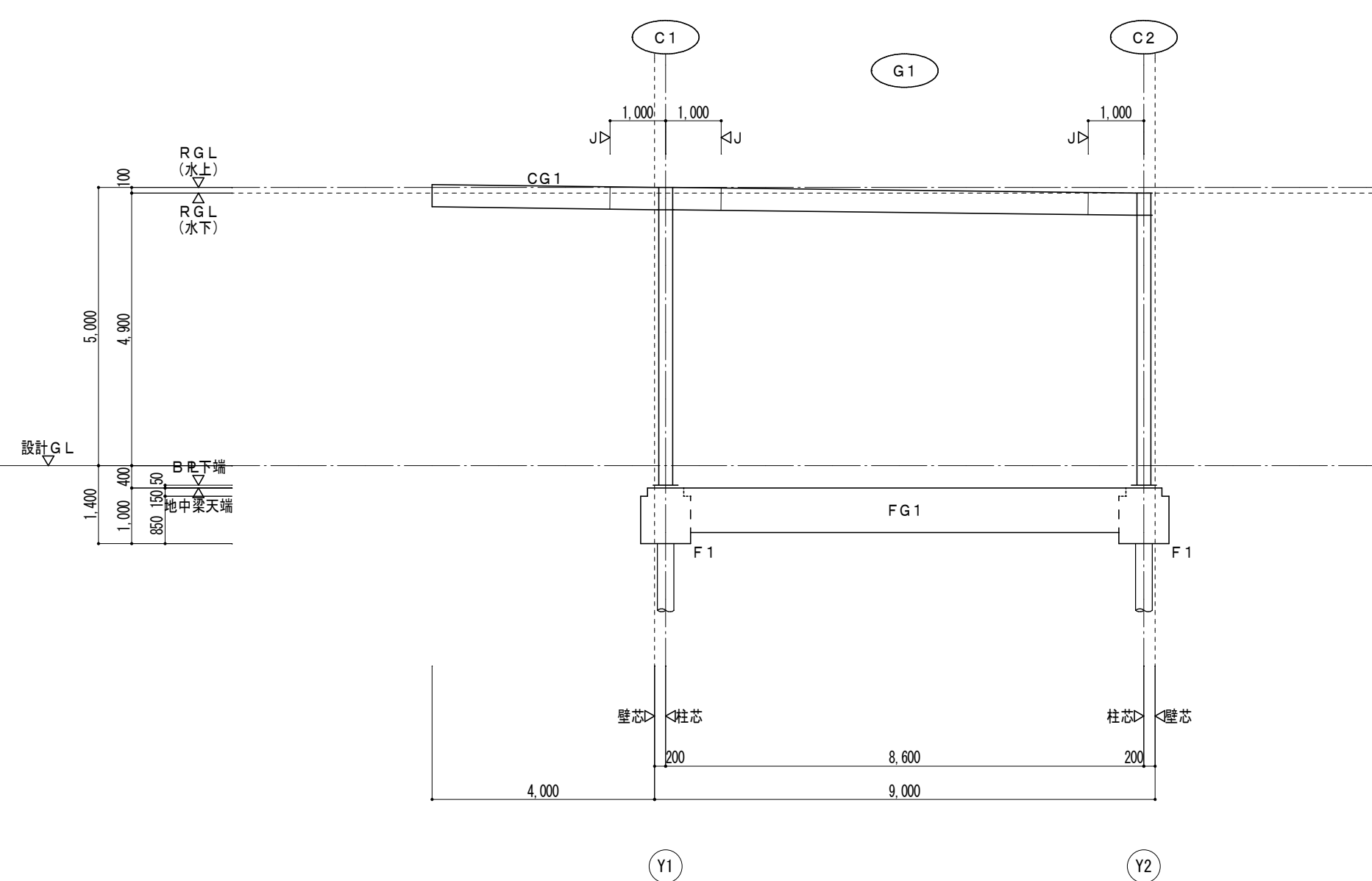
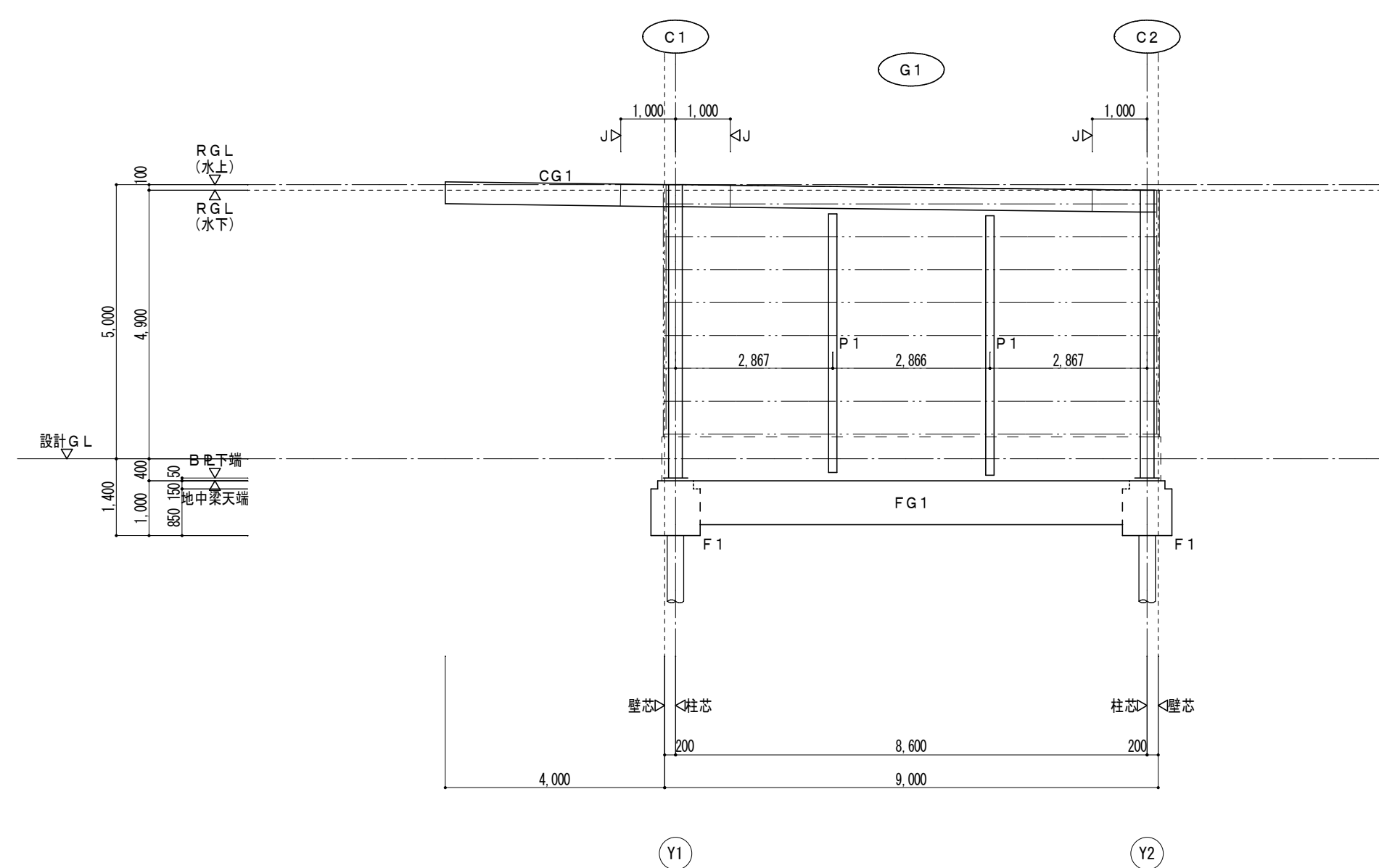
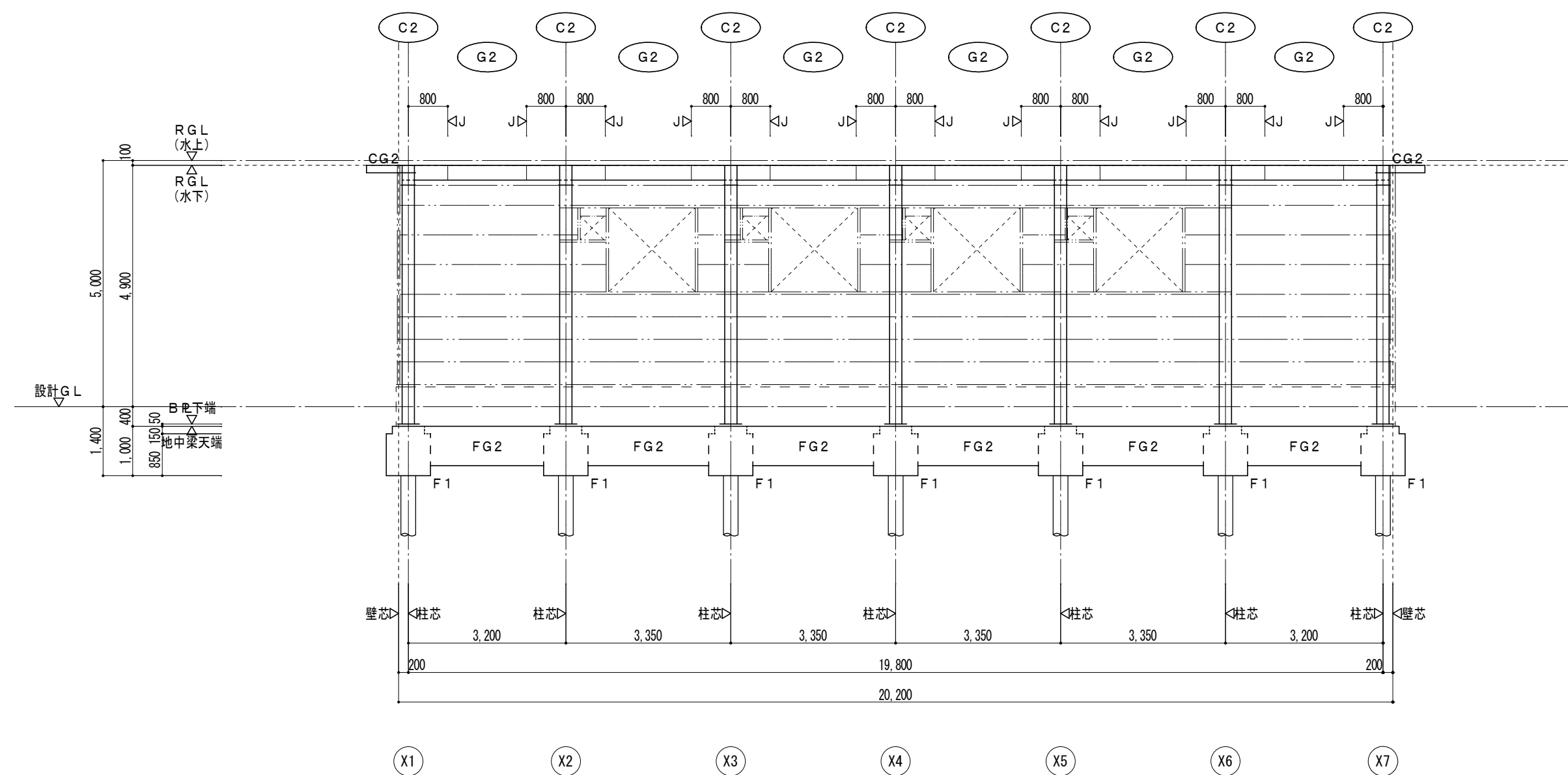
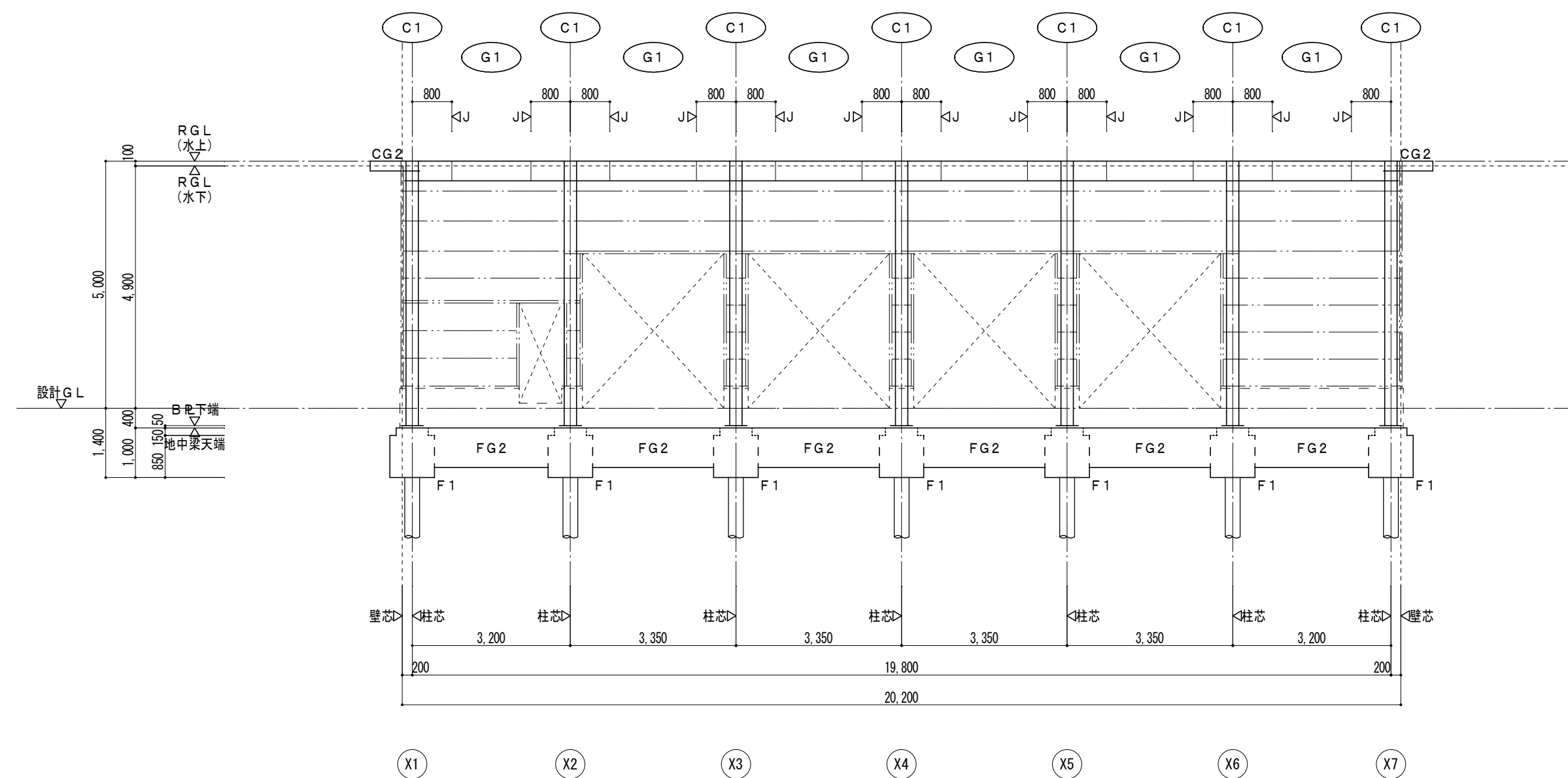
柱-梁剛接合を示す。

梁-梁ピン接合を示す。

梁-梁剛接合を示す。

使用材料			
・コンクリート	: Fc21 (N/mm ²)	<基礎、地中梁、柱型>	
	: Fc18 (N/mm ²)	<土間・階コンクリート>	
・鉄筋	: SD295 (D16以下)	継手は重ね継手とする。	
	: SD345 (D19以上)	継手はガス圧接継手とする。	
・鉄骨	: BCR295	<柱>	
	: SS400	<大梁・小梁・間柱>	
	: SN490C	<通しダイヤフラム>	
	: SSC400	<軽量型鋼>	
・ボルト	: H.T.B S10T	<特殊高力ボルトトルシア型>	

一級建築士 第 254743 号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号



軸組図共通事項・凡例

・◁J：ジョイント位置を示す。

※ 梁ジョイント位置は、現場状況、搬入条件等考慮の上、
原・四・施工図作成時に調整し、係員承認後最終決定とする。

※ 開口について、開口重量として外壁荷重を入力している為
開口寸法に変更が生じても影響は無い。

外壁鋼線仕様

・ 外壁鋼線材は横鋼線と縦鉄筋両方の上、必要に応じ下記の仕様に配置する事。

——： C-100×50×20×2.3 (@ 606)

2C-100×50×20×2.3 (@ 適宜)

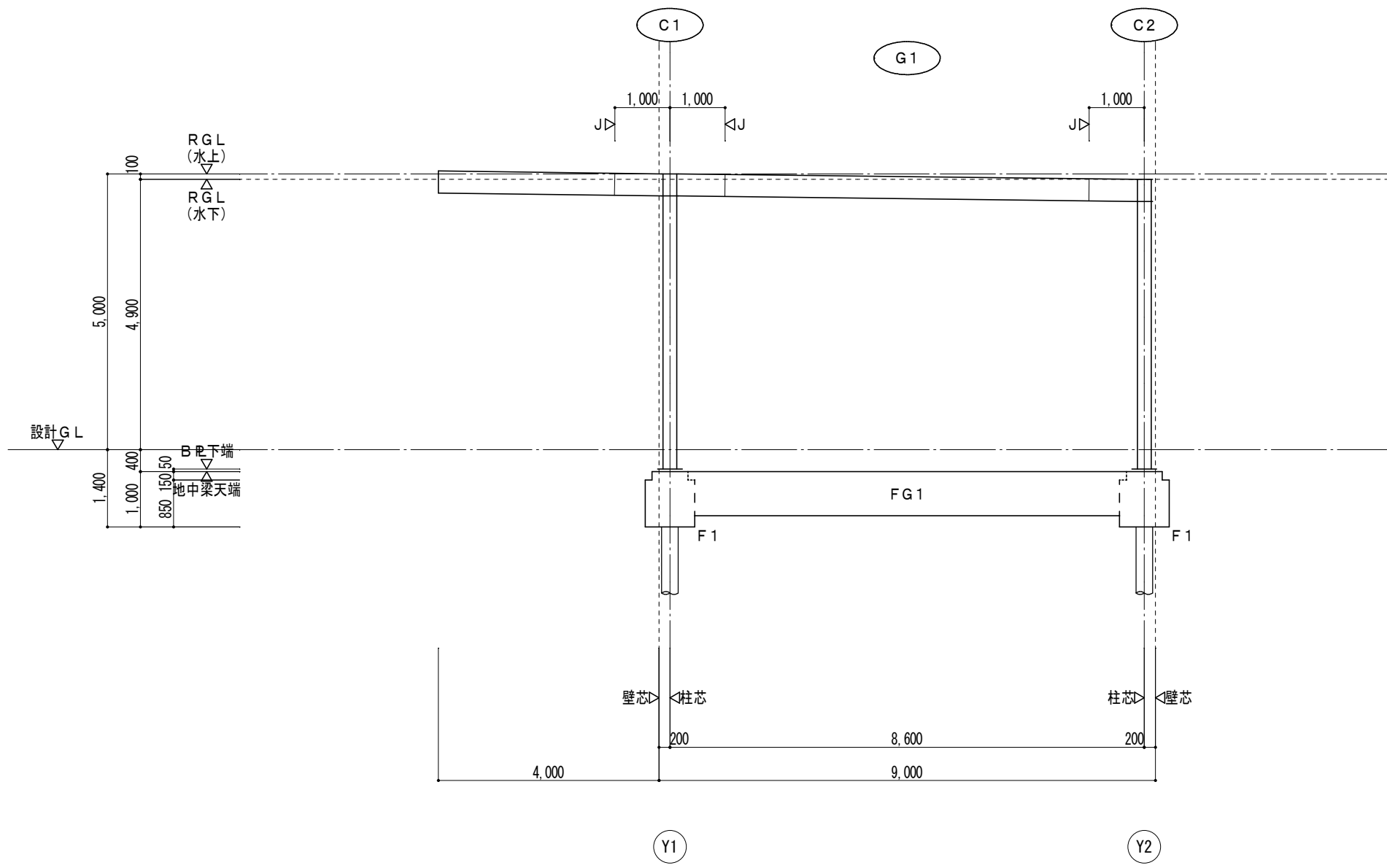
——： 開口周り 2C-100×50×20×2.3

または、 □-100×100×2.3

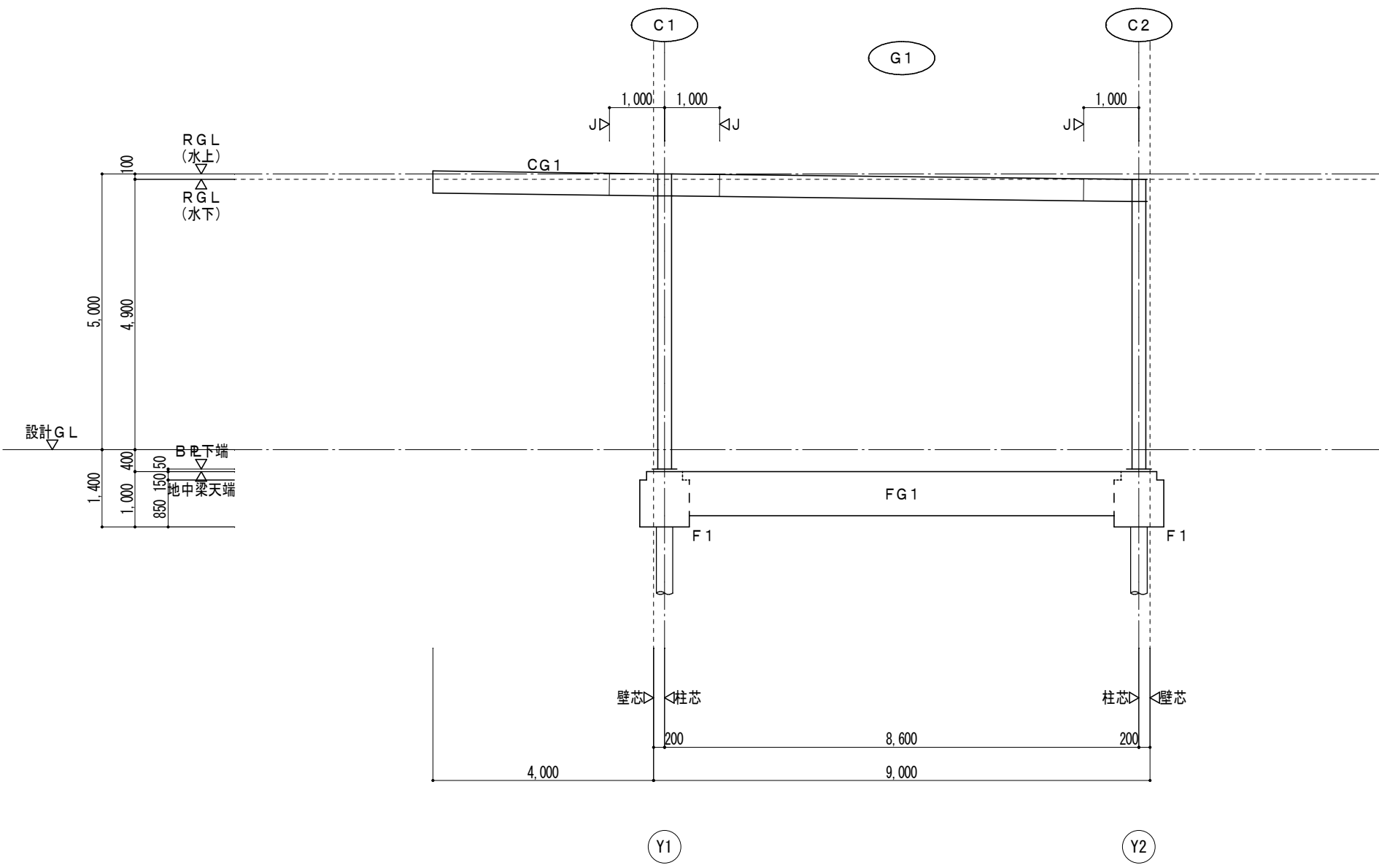
——： R1壁立上端レベルを基準

一級建築士 第 254743 号	麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号	

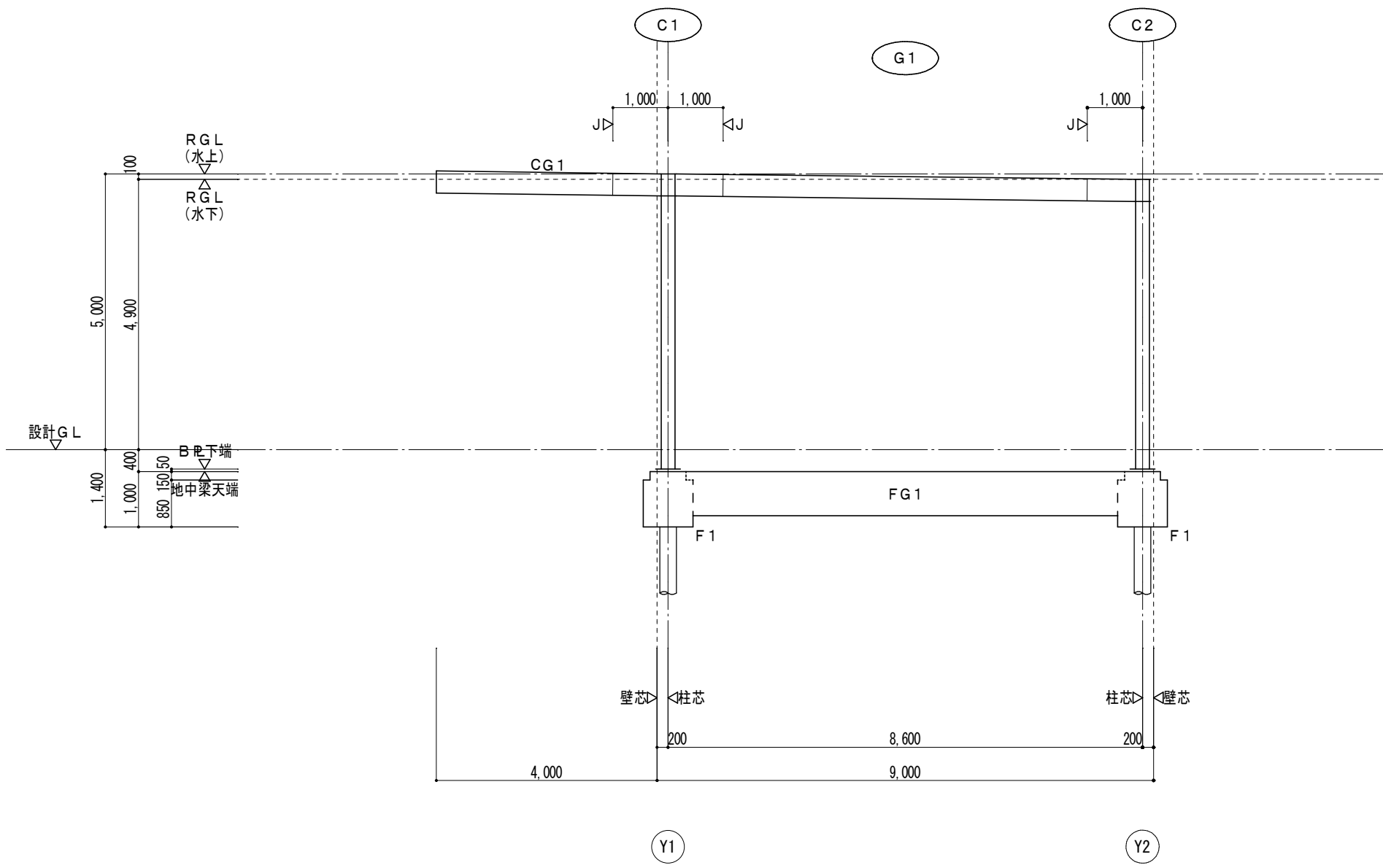
MEMO	滋賀県知事登録 一級建築士事務所 (口) 第2449号	藤田建築設計事務所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018	TITLE	豊公園再整備倉庫棟他新築工事	SCALE	CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO		
	滋賀県長浜市口分田町350番地7			【倉庫棟】 軸組図 (1)	A1: 1/100 A3: 1/200				S	13	23
						一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵					



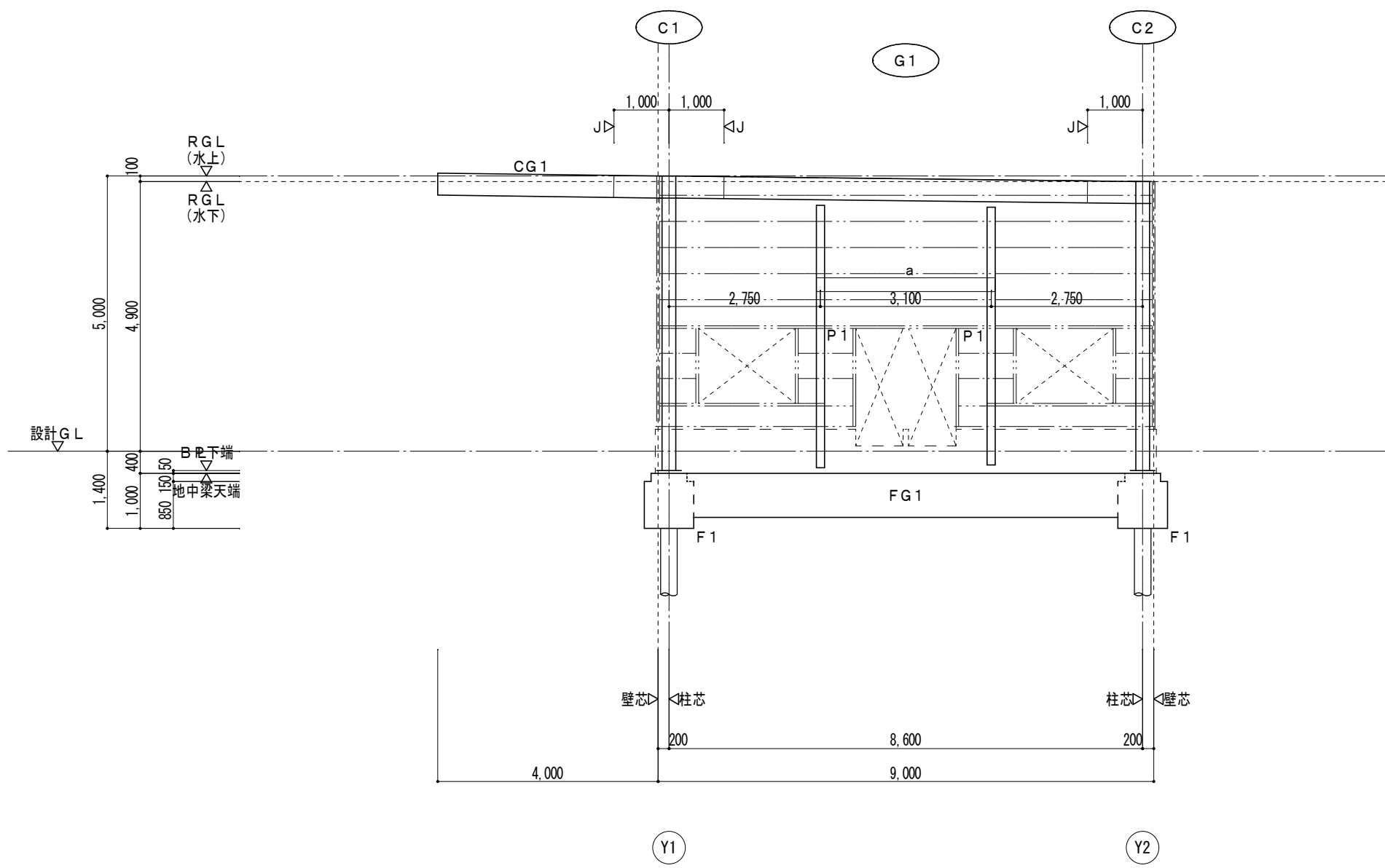
X4通軸組図 1/100



X5通軸組図 1/100



X6通軸組図 1/100



X7通軸組図 1/100

軸組図共通事項・凡例

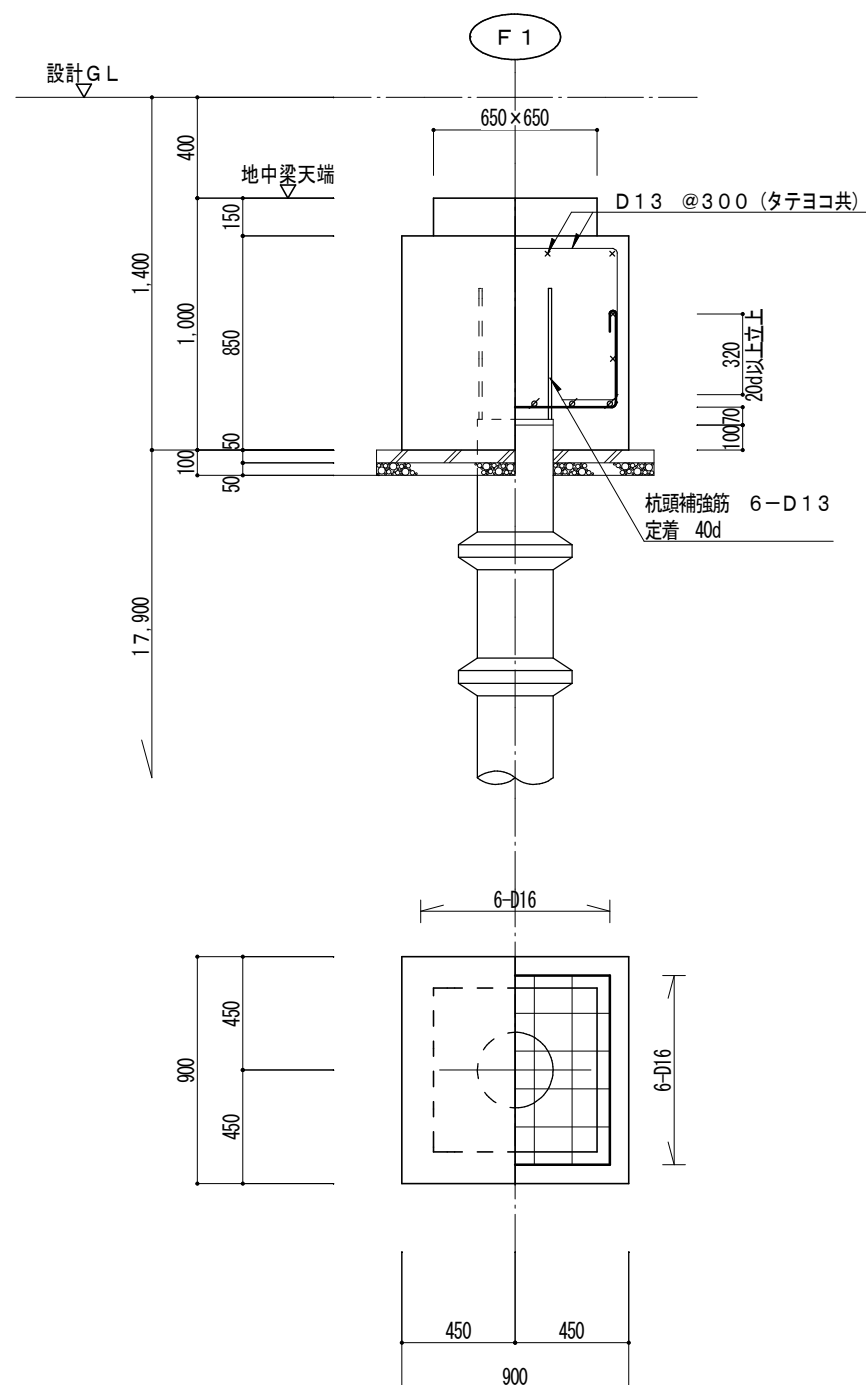
- ・<J>：ジョイント位置を示す。
- ・*：応補強材 □-250×250×6 R-9 2-M20
- ※ 梁ジョイント位置は、現場状況、搬入条件等考慮の上、原寸図・施工図作成時に調整し、係長承認後最終決定とする。
- ※ 開口について、開口重量として外壁荷重を入力している為開口寸法に変更が生じても影響は無い。

外壁断縁仕様

- ・ 外壁断縁材は断縁線とし意匠図確認の上、必要に応じて下図の仕様にて配置する事。
- ： C-100×50×20×2.3 (@ 606)
- ： 2C-100×50×20×2.3 (@ 適宜)
- ： 開口周リ 2C-100×50×20×2.3
- または、 □-100×100×2.3
- - - -： RC壁立上天端レベルを示す。

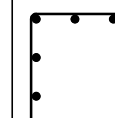
一級建築士 第 254743 号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号

基礎リスト 1/30



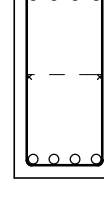
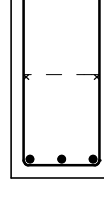
杭仕様	
基礎符号	F 1
杭 種	節杭 (上杭 B種 下杭 A種)
杭 径	φ304.5
杭 長	L=18.0m (上杭 9.0m + 下杭 9.0m)
杭 先 端	GL-19.30m
杭 耐 力	v R a=600 kN/本
杭 本 数	14セット
工 法	F P-B E S T E X 工 法 (認定工法)
杭頭補強筋	<p>杭頭補強筋 6-D13 スタッド溶接</p> <p>400</p>
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・杭頭補強筋は上図又はメーカー仕様による。 ・試験杭の位置及び箇所数は係員と協議の上、決定する。 ・試験杭の結果、杭仕様 (杭表・杭耐力) に支障がある場合は数量変更する。 ・杭施工はメーカーによる責任施工とする。

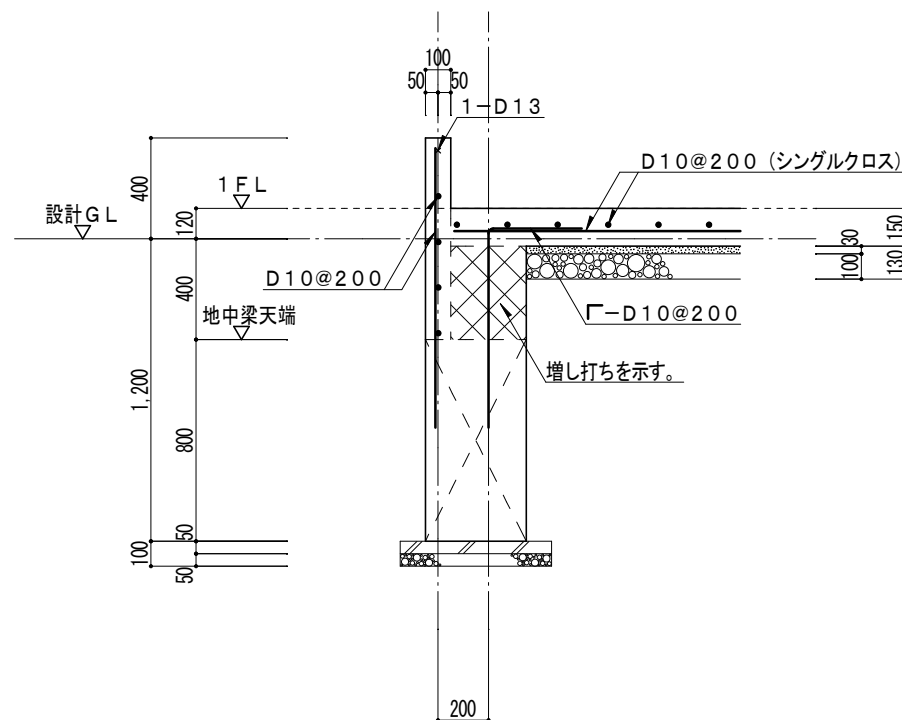
RC柱脚リスト 1/30

符 号	C1·C2
位 置	全 断 面
	
B × D	650 × 650
主 筋	12—D19
H O O P	□—D13@100

地中梁リスト 1/30



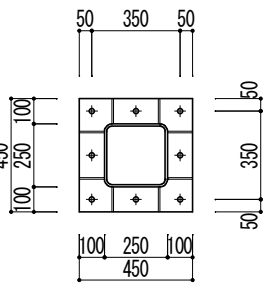
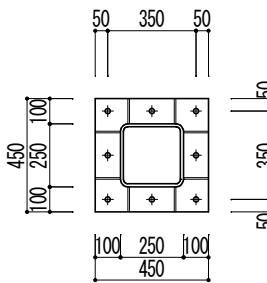
幅止め筋は D10@1000 とする。

符 号	FG1	FG2
位 置	全 断 面	全 断 面
GL-400 ▽		
B × D	400×800	400×800
上 端 筋	4-D22	3-D19
下 端 筋	4-D22	3-D19
腹 筋	2-D13	2-D13
スターラップ	□-D13 @200	□-D13 @200


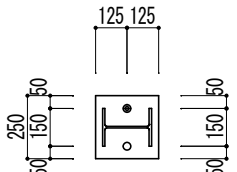


地中梁増し打ち・土間配筋詳細図 1/30



柱リスト 1/30

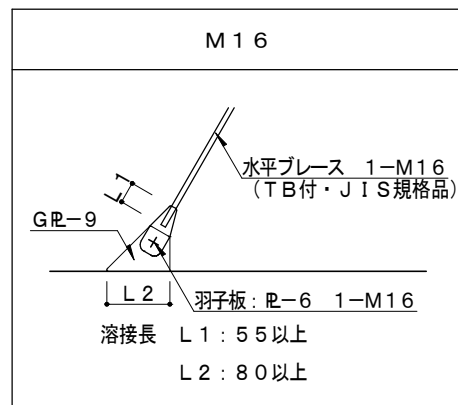
符 号	C 1	C 2
位 置	全 断 面	全 断 面
1 階		
部 材	□-250×250×12	□-250×250×9
材 種	BCR295	BCR295
ベースプレート	R-25×450×450	R-22×450×450
リ プ レート	R-6 H=100	R-6 H=100
	8-M22 (ABR400)	8-M20 (ABR400)
アンカーボルト	ダブルナット締め 定着長 440	ダブルナット締め 定着長 400
柱 脚 詳 細		

間柱リスト 1/30

符 号	P 1
位 置	全 断 面
	
部 材	H-194 x 150 x 6 x 9
材 種	SS400
ピ ン 仕 口	取-9 2-M16
ベースプレート	取-16 x 250 x 250 2-M16 (SS400)
アンカーボルト	ダブルナット締め 定着長 20d
柱 脚 詳 細	






大梁リスト

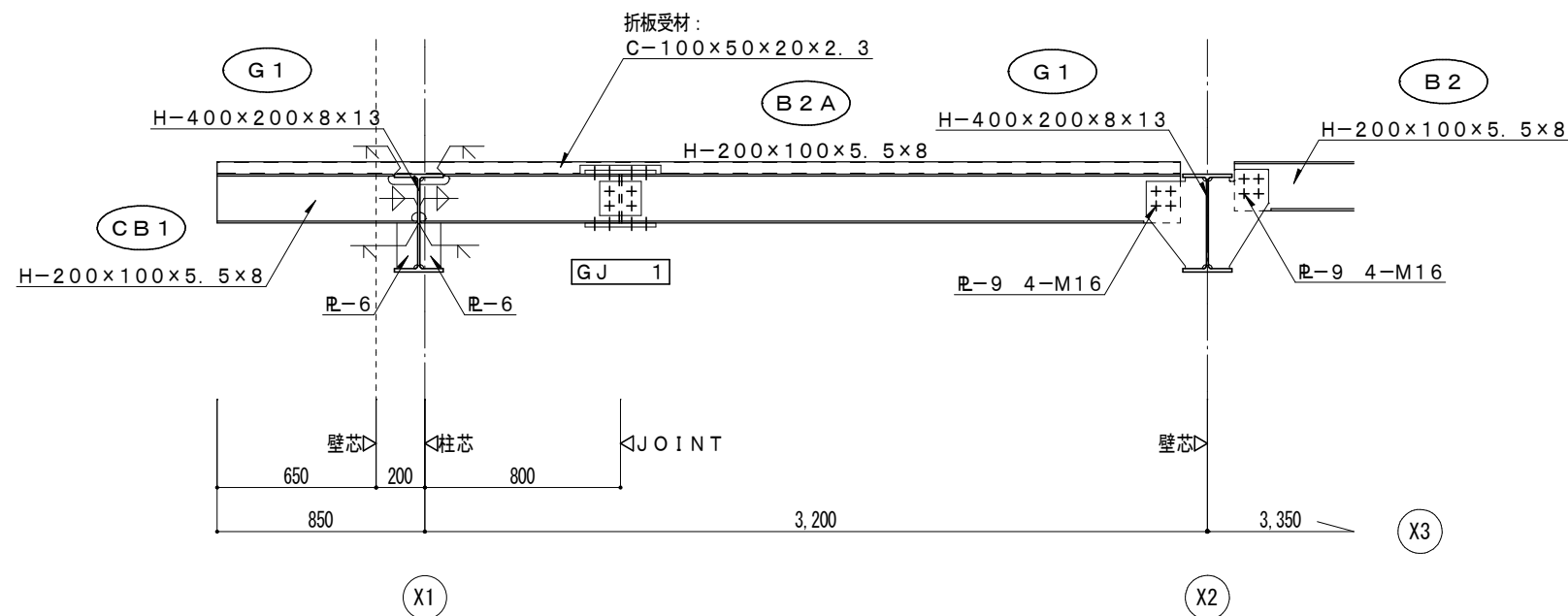
符 号	G 1	G 2
位 置	全 断 面	全 断 面
R 階		
部 材	H-400×200×8×13	H-300×150×6.5×9
材 種	SS 400	SS 400
継 手 番 号	G J 7	G J 3



小梁リスト 1/30

*特記無き限り、小梁仕口部のボルト間隔は、はしあき：40、ピッチ60以上とする。
*特記無き限り、G_Rは材種・板厚共に小梁のW_Rと同等以上とすること。

符 号	B 1	B 2・B 2 A	CG 1	CG 2	CB 1
位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面
					
		B2Aは、片側鋼接合	溶接仕口	溶接仕口	溶接仕口
部 材	H-150×75×5×7	H-200×100×5.5×8	H-400×200×8×13	H-150×150×7×10	H-200×100×5.5×8
材 種	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400
ピ ン 仕 口	R-6 2-M16	R-9 4-M16	—	—	—
継 手 番 号	—	GJ 1	GJ 7	—	—



B 2 A 取付詳細図 1 / 30

一級建築士 第 254743 号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号

構造設計一級建築士 第 2337 号

MEMO

滋賀県知事登録
(口)第2449号
滋賀県長浜市口分田町350番地7

藤田建築設計事務所

TEL : 0749-63-4500 FAX : 0749-56-3018

TITLE

豐公園再整備倉庫棟他新築工事

【倉庫棟】 部材リスト

SCALE

CHECK DEAT

DRAWN DEAT

SEAL

SHEET NO

A1 : 1/ 30

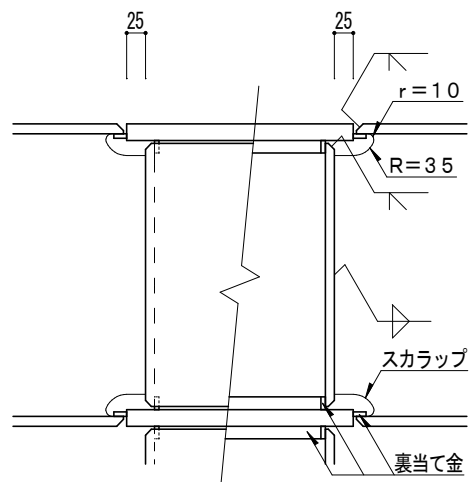
A3 : 1/ 60

一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵

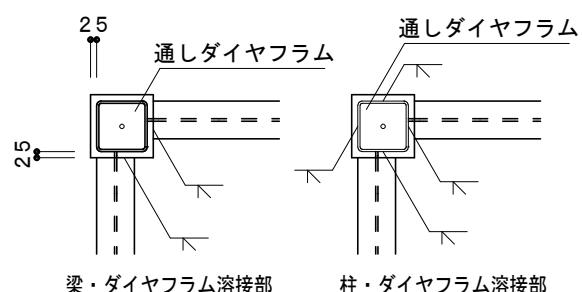
S

15

23



パネルゾーン詳細図

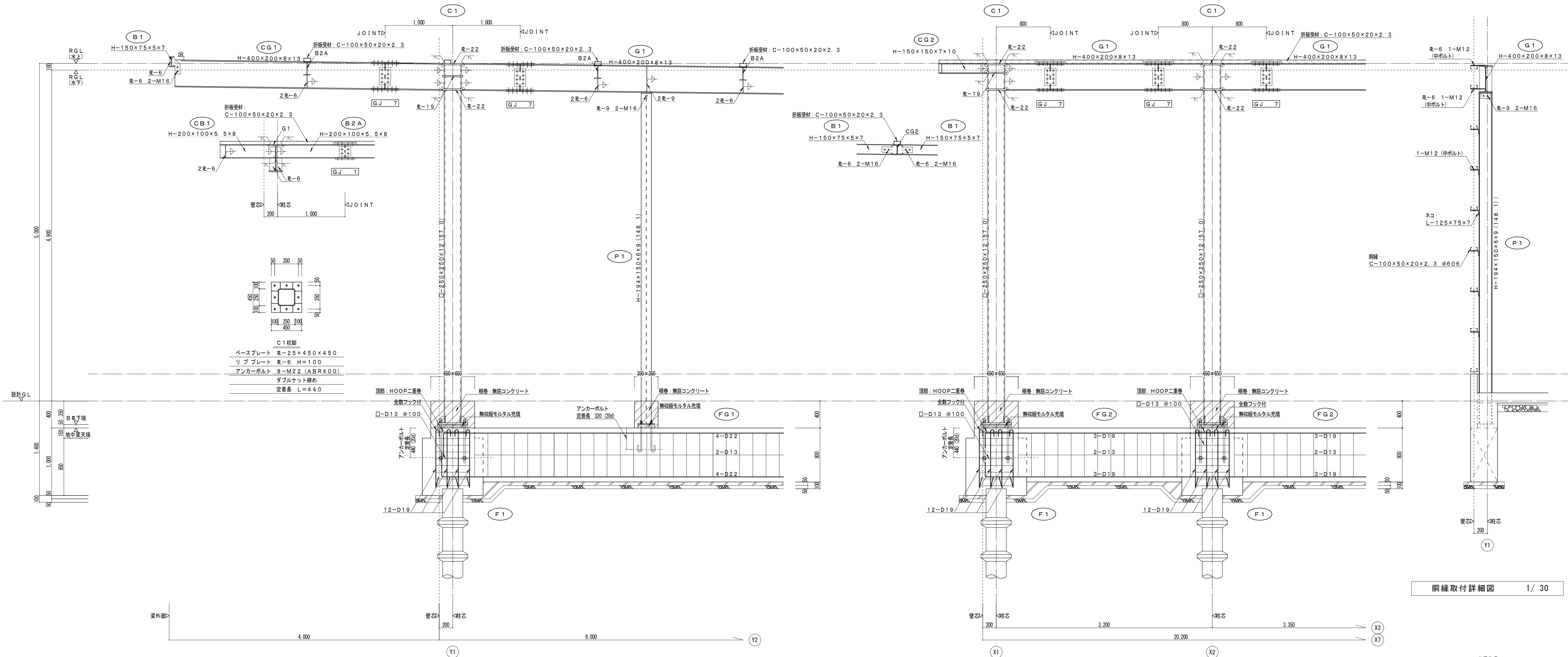


通しダイヤフラム 共通事項

エンドタブ 共通事項

- ・突合せ溶接、部分溶け込み溶接の両端部にはエンドタブを取り付ける。
- ・エンドタブの種類は固形タブとし、作業者はAW検定（代替エンドタブ技量検定）有資格者、又は技量付加試験合格者とする。
- ・上記以外の作業者が溶接を行う場合はスチールタブとする。
- ・但し、代替えエンドタブ溶接講習等の修了者は、係員と協議の上、承認をもって技量付加試験を免除とする。
- ・スチールタブは母材と同厚で同断先形状とし、溶接終了後母材より10mm程度残して切断してグラインダー仕上とする。

通しダイヤフラムプレート厚は、柱厚以上、かつ取付梁フランジ厚の2サイズ以上とし、目通りの生じない様必要厚さを調整する事。



X1通架構詳細図 1/ 30

Y1通架構詳細図 1/ 30

胴縁取付詳細図 1/ 30

共通事項

- ・特記なき地中梁スーラップ筋は□-D13@200とする。
- ・特記なき柱材はBCR295とする。
- ・特記なき大梁材はSS400とする。
- ・特記なき小梁材・間柱材はSS400とする。
- ・特記なきダイヤフラムはSN490Cとする。
- ・特記なき軽量型鋼はSSC400とする。
- ・特記なきボルトはHTB S10Tとする。
- ・（ ）内数値は、柱有効縦長比を示す。

一級建築士 第 254743 号 麻植 健作
構造設計一級建築士 第 2337 号

MEMO	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (口) 第 2 4 4 9 号 滋賀県長浜市口分田町 3 5 0 番地 7	藤 田 建 築 設 計 事 務 所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018	TITLE	豊公園再整備倉庫棟他新築工事	SCALE	CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO		
					A1: 1/ 30 A3: 1/ 60				S	16	23
				【倉庫棟】 架構詳細図			一級建築士登録 第 8 5 5 8 0 号 藤田 泰蔵				

構造標準仕様書

1. 建築物の構造概要

用途

☐戸建住宅☐共同住宅☒（その他）

工事種別

☒新築☐増築

規模

地下 0 階地上 1 階

構造種別

☒木造軸組工法

防火指定

☐防火地域☐準防火地域
☒法22条指定地域☐指定なし

積雪条件

☐一般区域☒多雪区域
垂直積雪量 [110] cm
積雪荷重☐20N/cm/㎡☒30N/cm/㎡

基準風速

[34] m/s

地表面粗度区分

☐Ⅰ☐Ⅱ☐Ⅲ☐Ⅳ

性能評価

☐有☒無
耐震（倒壊）等級☐1☐2☐3
耐震（損傷）等級☐1☐2☐3
耐風等級☐1☐2
耐積雪等級☐1☐2

2. 使用構造材料

（1）コンクリート

JIS A 5308のレディーミクストコンクリートとする
設計基準強度 (FC)基礎、躯体、外構☐18☒21☐24☐27
設計強度捨てコン、土間☒18☐21☐24☐27
調合管理強度は設計基準強度 (F_o)に構造体強度補正值 (S)を加えた値とする
※構造体強度補正值 (S)は公共建築工事標準仕様書（令和4年版）による
セメント普通ポルトランドセメント
スランプ15cm

（2）鉄筋

JIS G 3112とする
☒SD295A☐SD345 (D19以上)

（3）木材

部位	寸法	樹種	等級
土台	105×105	桧 KD	野材 一等
柱	105×105	桧 KD	
間柱	105×45、45×45	杉 KD	
梁、桁（小屋）	105×※	桧 KD	化粧材 一等上小節
ランマ窓下マグサ	180×105	桧 KD	
開口部上下マグサ（柱間1,000以下）	105×45	杉 KD	
頭ヶサ	105×105	杉 KD	
隅木	90×90	杉 KD	
胴ブチ	24×90/2 @303	杉 KD	
筋違い	45×105	杉 KD	
使用木材は、全て滋賀県産材とし証明書の提出をすること。			

（4）その他

3. 地盤

地盤調査方法

☐目視及び周辺の資料調査
☐表面波探査
☒標準貫入試験
☐平板載荷試験

地盤種別

☐1種☐2種☐3種

4. 地業工事

☐地業（砕石・割栗石）
☒地盤改良☐柱状改良
☐直接基礎☒布基礎☒べた基礎
☐杭基礎
許容地耐力 [] kN/㎡以上

5. 鉄筋コンクリート工事

（1）コンクリート工事

・コンクリートの練り混ぜから打ち込み終了までの時間の限度は、外気温が25℃未満で120分、25℃以上で 90分とする
・ポンプ打ちコンクリートは、できるだけ打ち込み位置に近づけ垂直に打つこと
・空隙が生じないように十分な突き、たたきを行うこと

（2）配筋工事

a. 鉄筋末端部及び中間部の折曲げ形状・寸法
鉄筋の種類：SD295、D16以下

	図 余長	鉄筋の折曲げ内法直径（D）
末端部		3 d 以上
中間部		3 d 以上

b. 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N/mm ² ）	定着長さ	重ね継手の長さ
SD295A	18	40d又は 30dフックつき 35d又は 25dフックつき	45d又は 35dフックつき 40d又は 30dフックつき
	21、24		

※地中梁の引張鉄筋の定着は40dとする。

c. かぶり厚さ

部位	設計かぶり厚さ（mm）
土に接する部分	基礎立上り 50 基礎底板 70

d. 鉄筋のあき・間隔の最小寸法

あき

- 呼び名の数値の1.5倍
- 粗骨材最大寸法の1.25倍
- 25mmのうち大きいほうの数値

間隔

- 呼び名の数値の1.5倍+最外径（do）

e. 基礎隅角部の配筋補強

隅角部では各横筋を折り曲げた上、直行する他方向の横筋に300mm以上重ね合わせる

f. 人通口部の配筋補強

☐べた基礎

g. 地中梁部の配筋補強

（3）型枠工事

型枠の存置期間	
平均気温	日数
5℃以上15℃未満	5
15℃以上	3

6. 木工事

（1）鉛直構面（耐力壁等）

a. 筋かい

☐木材15×90mm以上

端部の留めつけ

☐木材30×90mm以上

端部の留めつけ

☒木材45×90mm以上

端部の留めつけ

☐木材90×90mm以上

端部の留めつけ

筋かいの壁倍率

筋かいの種類	片筋かい			両筋かい
	基準	圧縮	引張	
<input type="checkbox"/> 鉄筋φ9mm以上	—	0	2.0	(2.0)
<input type="checkbox"/> 木材15×90mm以上	1.0	1.0	1.0	2.0
<input type="checkbox"/> 木材30×90mm以上	1.5	2.0	1.0	3.0
<input checked="" type="checkbox"/> 木材45×90mm以上	2.0	2.5	1.5	4.0
<input type="checkbox"/> 木材90×90mm以上	3.0	5.0	1.0	5.0
<input type="checkbox"/> 鋼製ﾌﾟﾚｽ9φ	2.0	0	2.0	

（2）水平構面（屋根・床等）

a. 屋根構面

☒鉄骨母屋

鉄骨母屋C-75×45×15×2.3
間隔 [455] mm以下

2-N75斜め留め
耐火野地板（厚18mm）
千鳥に配置

釘N50@150mm以下

小屋梁

軒桁

☐転び止め

母屋 [120] x [120] mm
間隔 [1000] mm以下

間隔 [364] mm

合板（厚12mm以上）
千鳥に配置

釘N50@150mm以下

転び止め

軒桁

小屋梁

釘3-N75（転び止めと軒桁、母屋の接合）

b. 床構面

☐根太落し込み

合板（厚12mm以上）
千鳥に配置

床梁

釘N50@150mm以下

根太

根太 [45] x [90] mm
間隔 [500] mm以下

床梁

N75斜め釘打ち1本

☐根太半欠き

床梁

釘N50@150mm以下

合板（厚12mm以上）
千鳥に配置

大梁

根太 [] x [] mm
間隔 [] mm以下

大梁

大梁へ平打ち
釘N90@250mm以下

N75斜め釘打ち2本

渡りあご掛け

☐根太転ばし

合板（厚12mm以上）
千鳥に配置

釘N50@150mm以下

床梁

根太

N75斜め釘打ち2本

合板

床梁

根太 [] x [] mm
間隔 [] mm以下

☐根太なし合板直張 川の字釘打ち

釘N75@150mm以下

合板（厚24mm以上）
千鳥に配置

床梁

合板

床梁 [105] x [105] mm以上
間隔 [1000] mm以下

☐根太なし合板直張 四周釘打ち

合板の短辺を床梁に固定

合板の長辺を床梁に固定

受材（45×90mm以上）

合板（厚24mm以上）
千鳥に配置

釘N75@150mm以下

合板（厚24mm以上）

床梁 [105] x [105] mm以上
間隔 [1000] mm以下

受材

c. 火打梁

☒木製火打

660程度

六角ボルト

火打梁90×90以上

かたぎ大入れ

N90釘2本打ち

☐火打土台

☐火打金物（Zマーク）

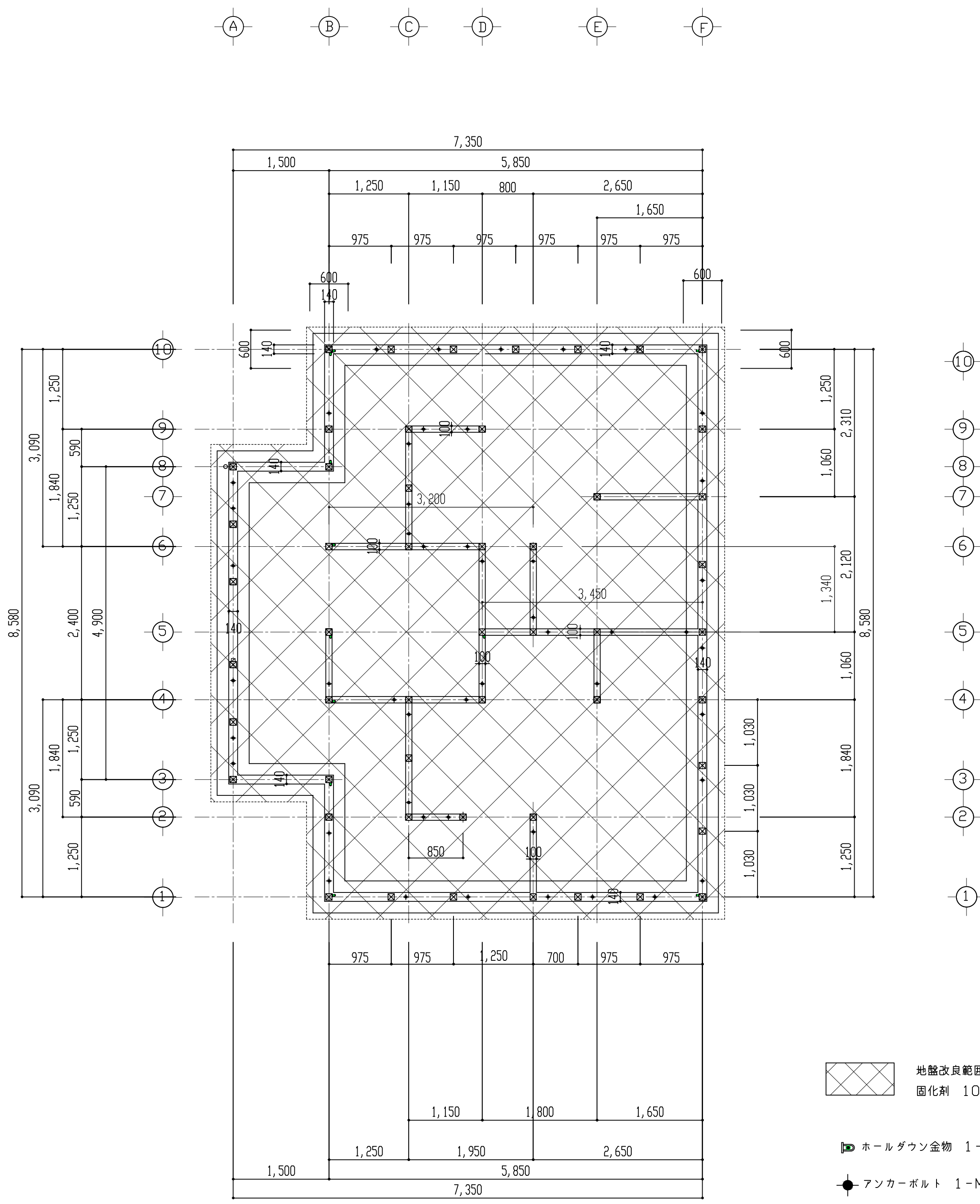
750

六角ボルト＋平くぎ3本

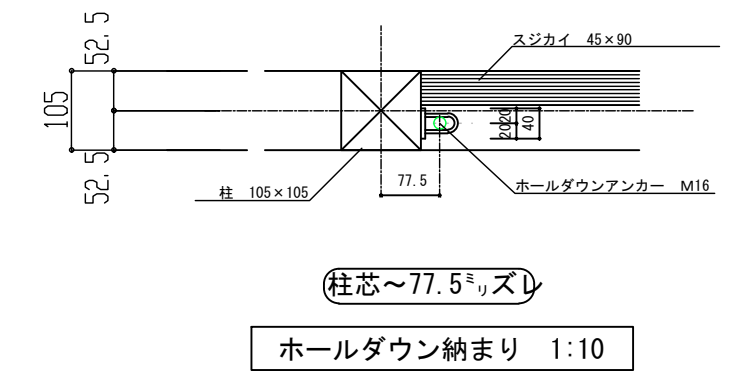
火打金物

MEMO	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (口) 第2449号 滋賀県長浜市口分田町350番地7	藤田建築設計事務所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018 email: fujita.a.office@gmail.com	TITLE 豊公園再整備倉庫棟他新築工事 (便所棟) 木構造標準仕様書-1	SCALE	CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO
				A1:1/50 A3:1/100	00・00・00	23・03・30	S	17 / 23
				一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵				

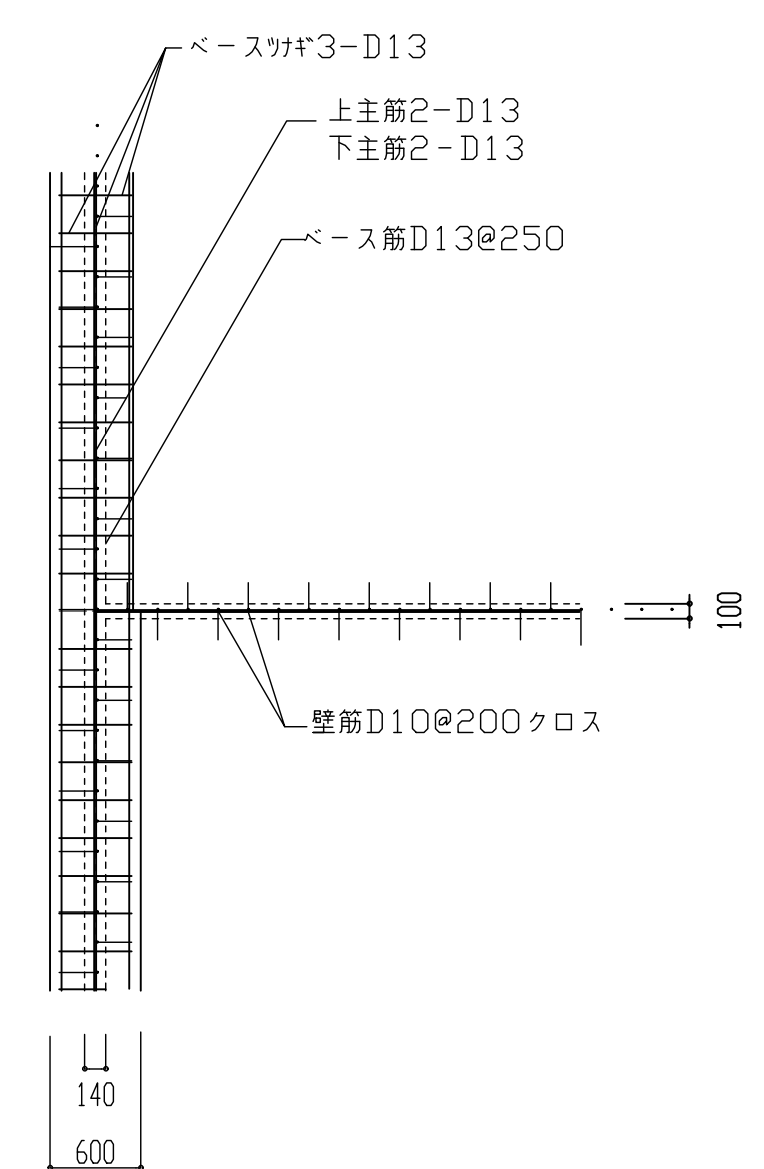
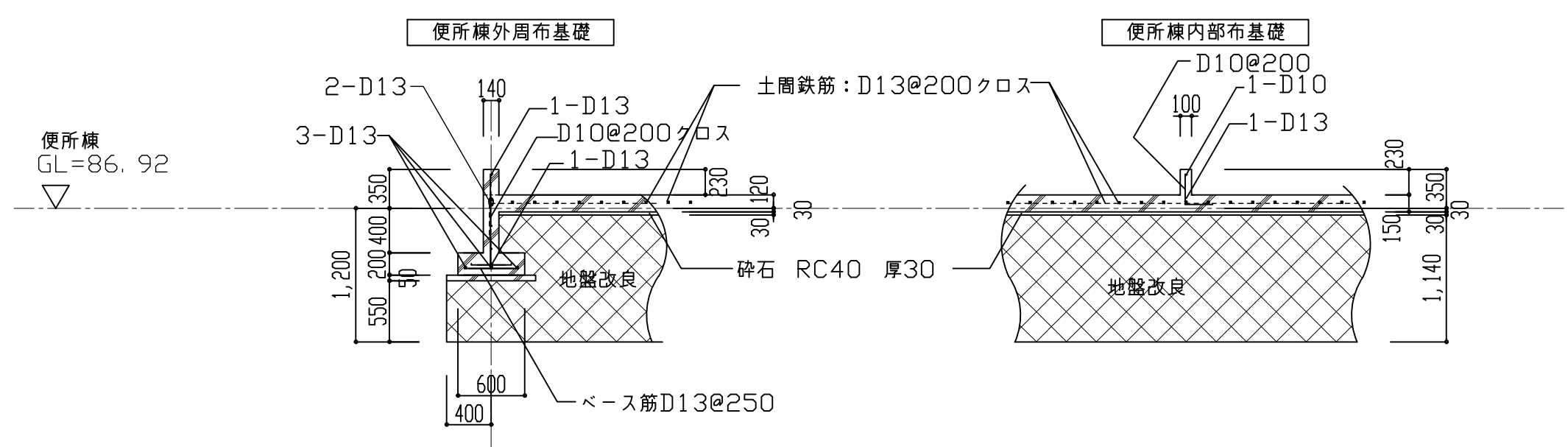
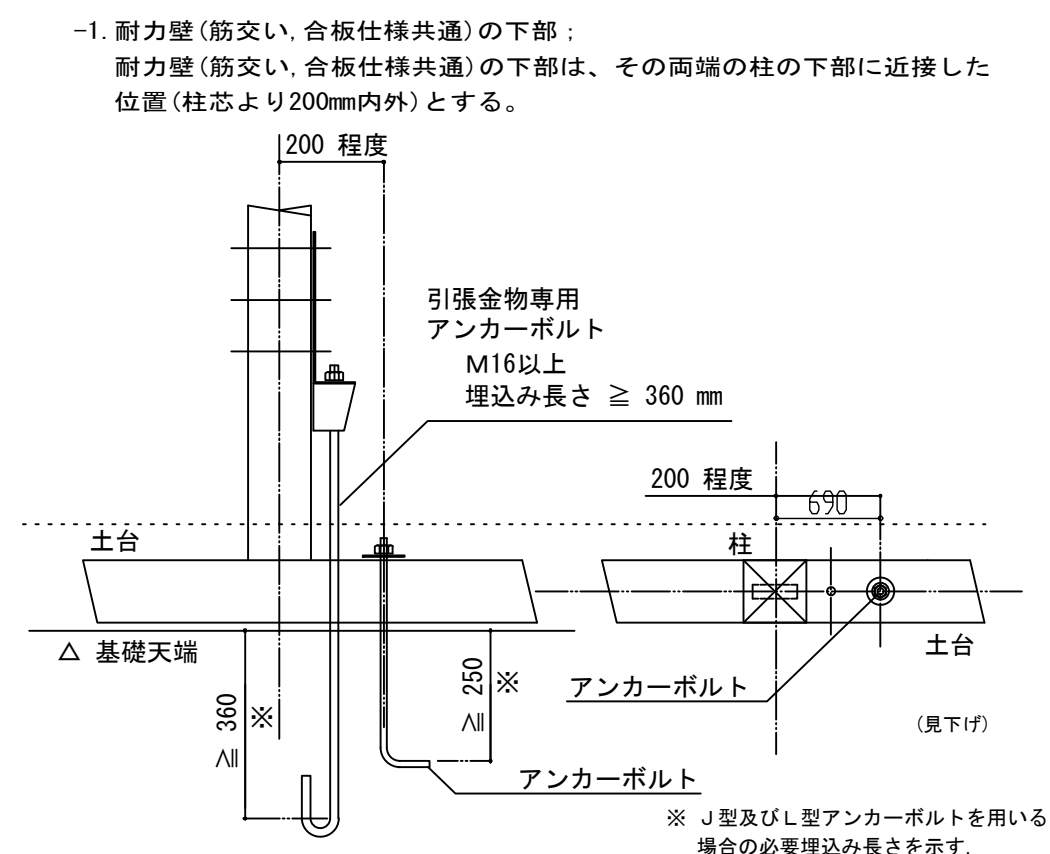
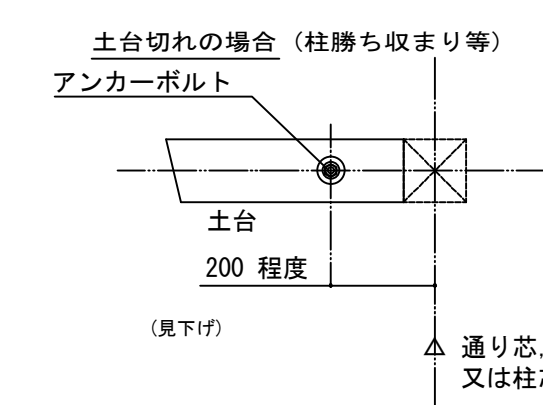
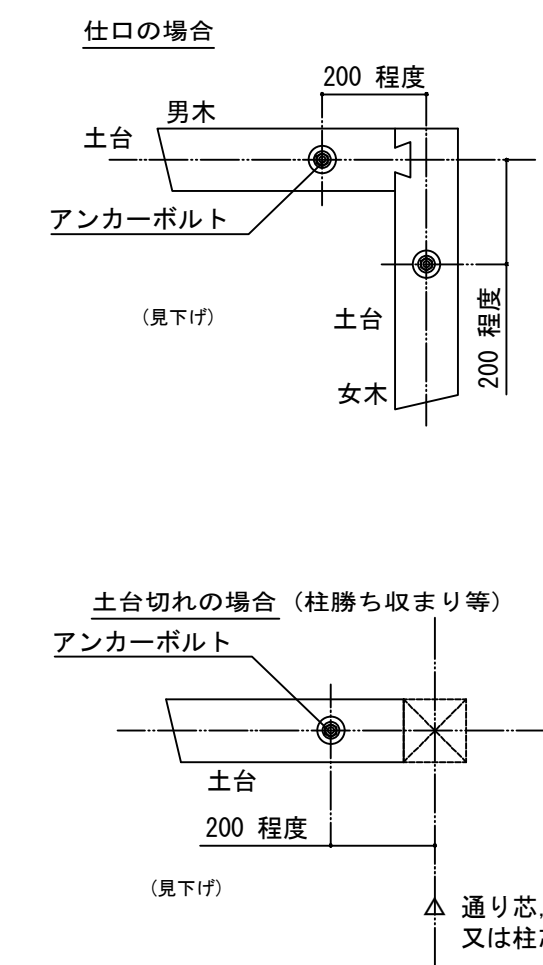
(3) 柱仕口		数値は短期許容引張耐力	
■ 短ほぞ差し (小屋組み部分) 0.0kN	■ かすがい打ち 1.08kN	□ 短冊金物 7.50kN	□ 羽子板ボルト+スクリュー釘 8.50kN
■ かど金物 CP-L 3.38kN	□ かど金物 CP-T 5.07kN	□ 短冊金物+スクリュー釘 8.50kN	□ 引き寄せ金物S-HD10 10.0kN
□ 山型プレートVP 5.88kN	□ 羽子板ボルト 7.50kN	■ 引き寄せ金物S-HD15 15.0kN	□ 引き寄せ金物S-HD20 20.0kN
</			

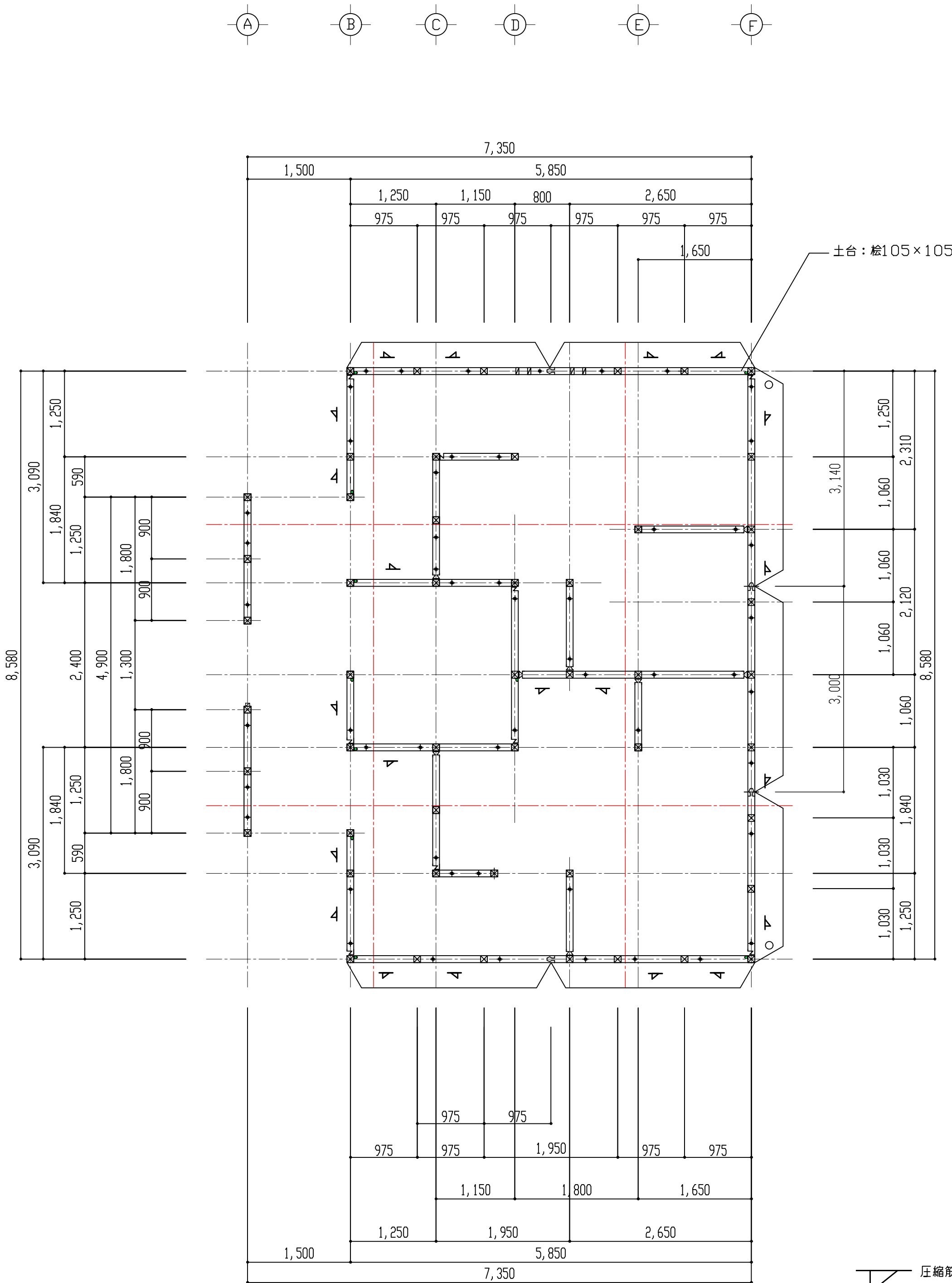


便所棟基礎伏せ図 1/50



ホールダウン納まり 1:10





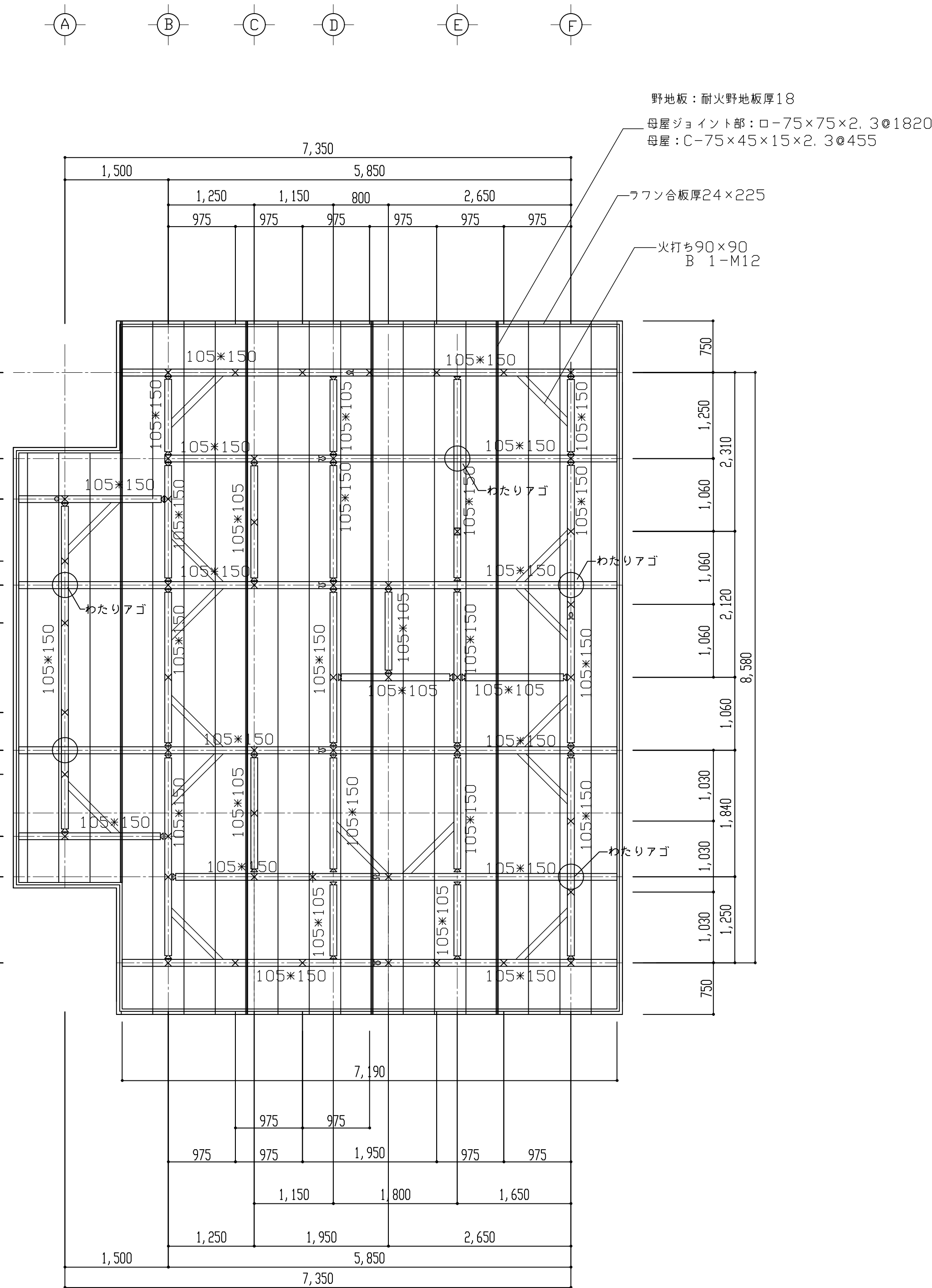
基礎伏せ図 1/50

圧縮筋交い 杉KD 45×90を示す
土台: 総 KD105×105

特記なきアンカーボルト:M12(ヒバ等)
Z認定品 又は同等品
柱面より180寄り @2,700以下
M12: 埋め込み長さL=250^{mm}以上

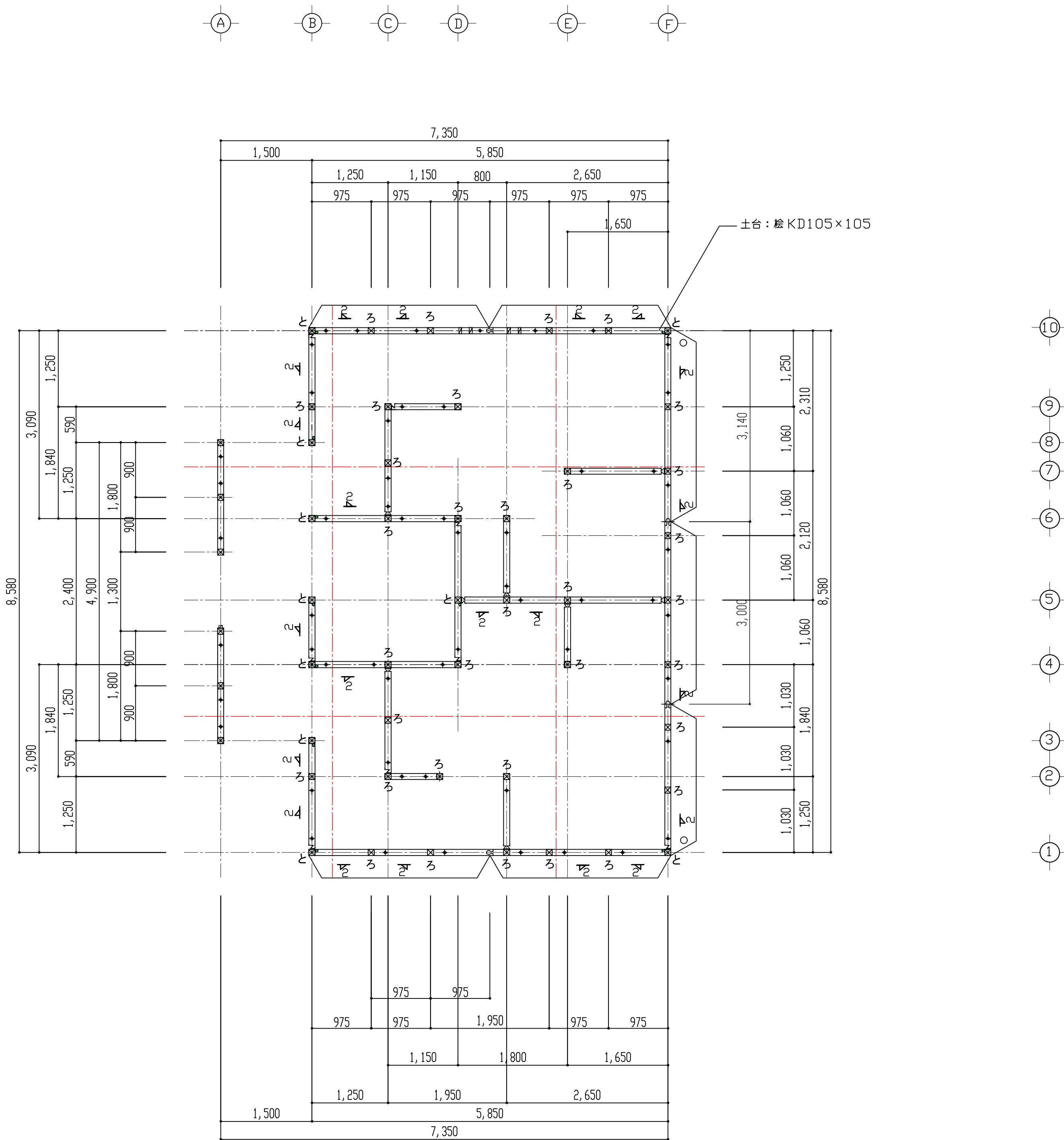
アンカーボルト:M16(ヒバ等)
Z認定品 又は同等品
柱面より30寄り 芯寄せ方向に注意
※HD15~25kN: 埋め込み長さL=360^{mm}以上

木材は全てKD材とする。



小屋伏せ図 1/50

MEMO		一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (口)第2449号 滋賀県長浜市口分田町350番地7	藤田建築設計事務所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018 email:fujita.a.office@gmail.com	TITLE	豊公園再整備倉庫棟他新築工事 便所棟 土台 小屋伏せ図	SCALE		CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO	
						A1:1/50	A3:1/100	00・00・00	07・09・21	S	20	23
		一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵										



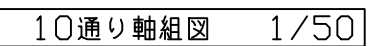
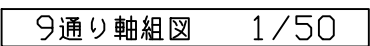
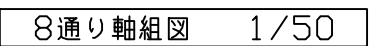
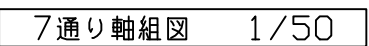
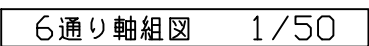
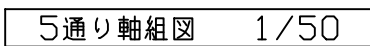
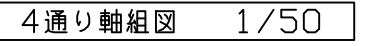
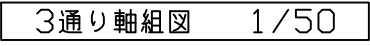
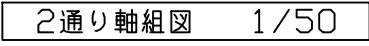
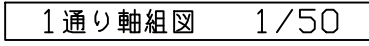
構造伏図（柱頭・柱脚接合部） 1/50

※壁の数値は耐力壁倍率を示す。

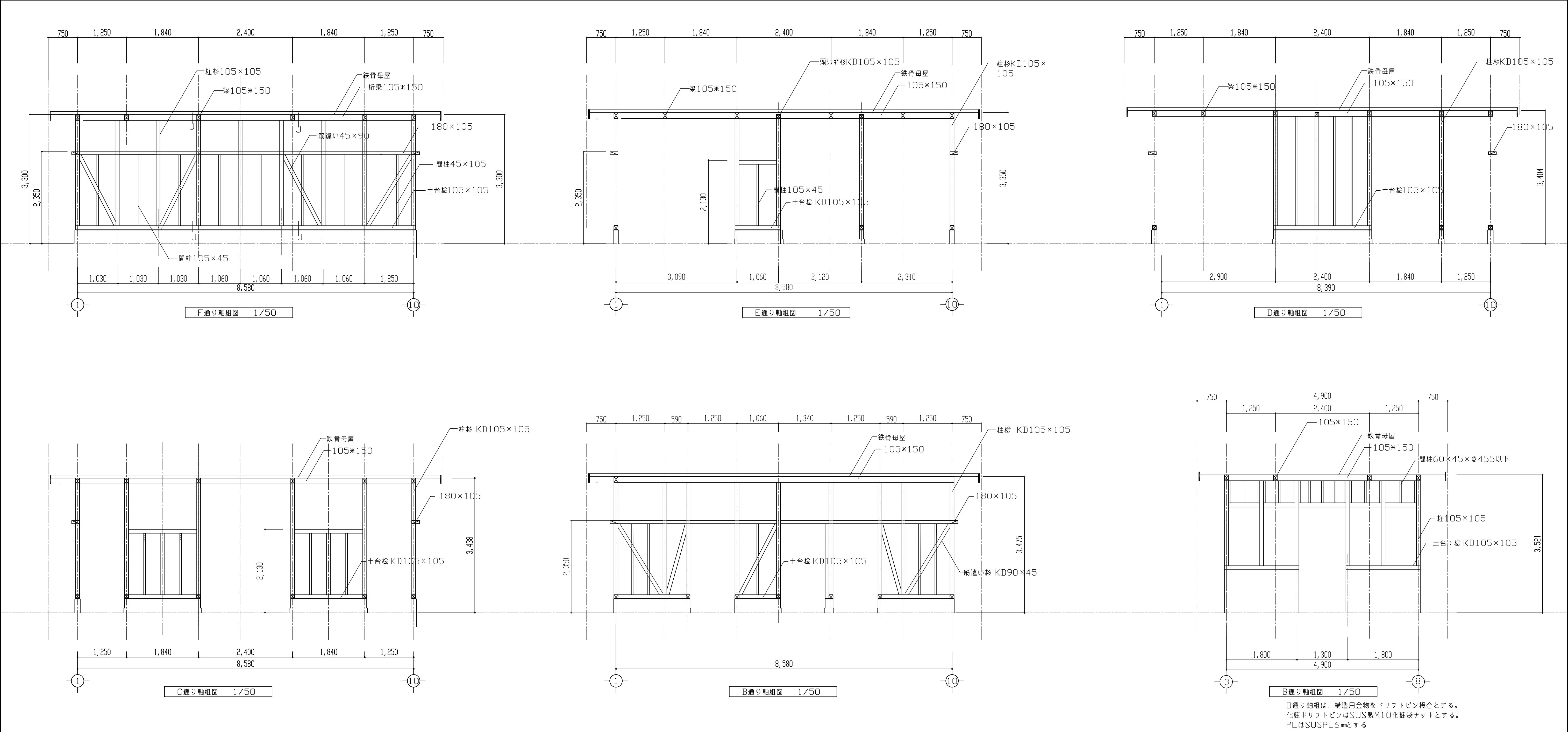
※柱の記号は耐力壁倍率から計算したN値に対する告示の記号を示す

筋違い耐力壁			
仕様・番号	仕様名称	壁倍率（圧縮/引張）	筋違い種類
1	筋違い（45×90）	2.0（2.5/1.5）	筋違い
2	筋違い（45×90 ダブル）	4.0（4.0/4.0）	たすき

MEMO		一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (印) 第2449号 滋賀県長浜市口分田町350番地7	藤田 建築設計事務所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018 email:fujita.a.office@gmail.com	TITLE	豊公園再整備倉庫棟他新築工事	SCALE	CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO	
					A1:1/50	A3:1/100	00・00・00	07・09・21	S	21	23
					構造伏図 (柱頭柱脚 金物配置図)			一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵			



MEMO		一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (口)第2449号 滋賀県長浜市口分田町350番地7	藤田建築設計事務所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018 email: fujita.a.office@gmail.com	TITLE	豊公園再整備倉庫棟新築工事	SCALE	CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO		
					A1:1/50 A3:1/100	00・00・00	07・09・21	S		22	23	
					一級建築士登録 第85580号 藤田 泰蔵							
					便所棟 軸組図-1							



D通り軸組は、構造用金物をドリフトピン接合とする。
化粧ドリフトピンはSUS製M10化粧袋ナットとする。
PLはSUSPL6mmとする

MEMO	一級建築士事務所 滋賀県知事登録 (口)第2449号 滋賀県長浜市口分田町350番地7	藤田 建 築 設 計 事 務 所 TEL: 0749-63-4500 FAX: 0749-56-3018 email:fujita.a.office@gmail.com	TITLE	豊公園再整備倉庫棟他新築工事	SCALE	CHECK DEAT	DRAWN DEAT	SEAL	SHEET NO	
					A1:1/50 A3:1/100	00・00・00	07・09・21	S	23	23
				便所棟 軸組図-2						